



ARCHITREND
リフォームエディション

外装リフォーム編

目次

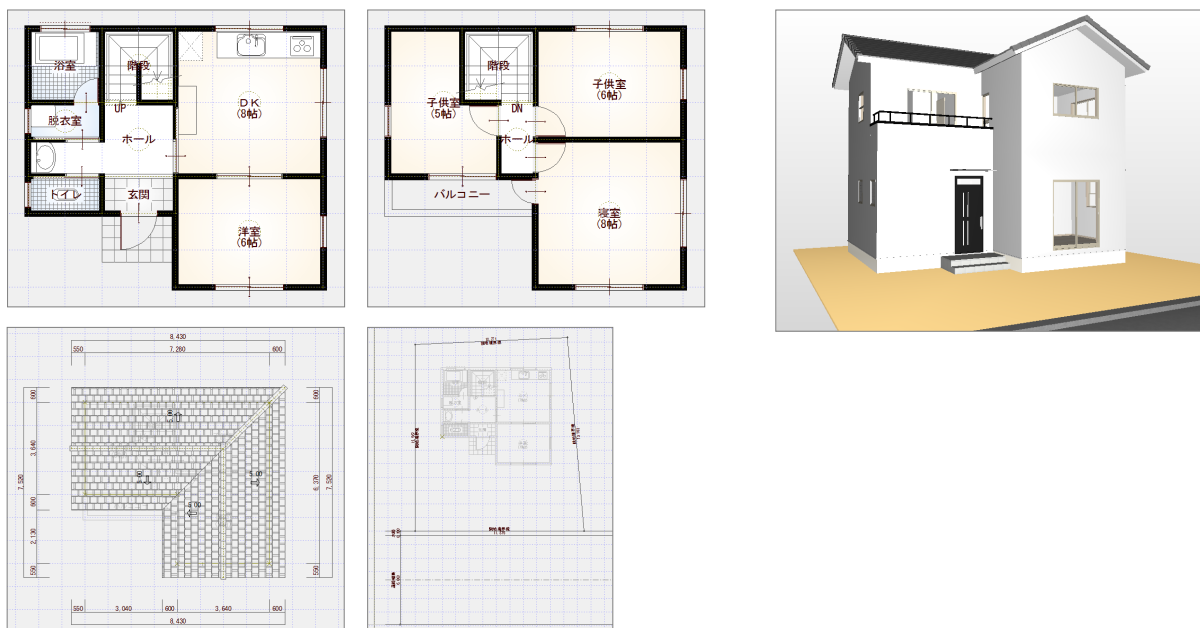
作成するプラン	3	屋根を置き替える	19
1 現況図の作成	4	パースから建具を変更する	20
1-1 サンプルデータの準備	4	パースから素材を変更する	20
物件データをエクスポートする	4	変更前と比較する	21
物件圧縮ファイルを移動する	5	3 パースの作成	22
現況図として取り込む	5	3-1 外構の入力	22
物件名を変更する	5	アプローチを入力する	22
1-2 間取りの入力	6	エクステリア部品を入力する	23
玄関ポーチを入力する	6	データを保存する	24
ポーチの目地を抜く	6	3-2 外観パースの作成	25
2階の部屋・建具を入力する	7	視点を設定する	25
階段を描く	7	画像を作成する	25
バルコニーを入力する	8	パースモニタデータを保存する	25
1-3 屋根の入力	9	4 立面図の作成	26
2階の屋根を入力する	9	4-1 立面図の作成	26
立体を確認する	10	立面図を自動作成する	26
1階の庇を入力する	10	他の面を作成する	26
1-4 敷地の入力	11	4-2 加筆修正	27
敷地を座標入力する	11	仕上仕様を入力する	27
道路を入力する	13	データを保存する	27
画像を作成する	13	5 図面の印刷	28
作図範囲を設定する	13	5-1 プレゼンボードの作成	28
データを保存する	13	図枠・図面を配置する	28
[補足] 三斜区画から敷地を入力するには	12	枠を部分移動する	28
2 計画図の作成	14	パースを配置する	29
2-1 計画図データの作成	14	2面目を開く	30
計画図を開く	14	図枠・図面を配置する	30
立体を確認する	14	作図範囲外のデータを表示する	31
2-2 間取りの変更	15	データを保存する	31
部屋を拡張する	15	[補足] テクスチャ・設備のプレゼンボード	32
屋根を入力する	15		
2-3 外装の変更	17		
建具を入れ替える	17		
外壁を変更する	18		

作成するプラン

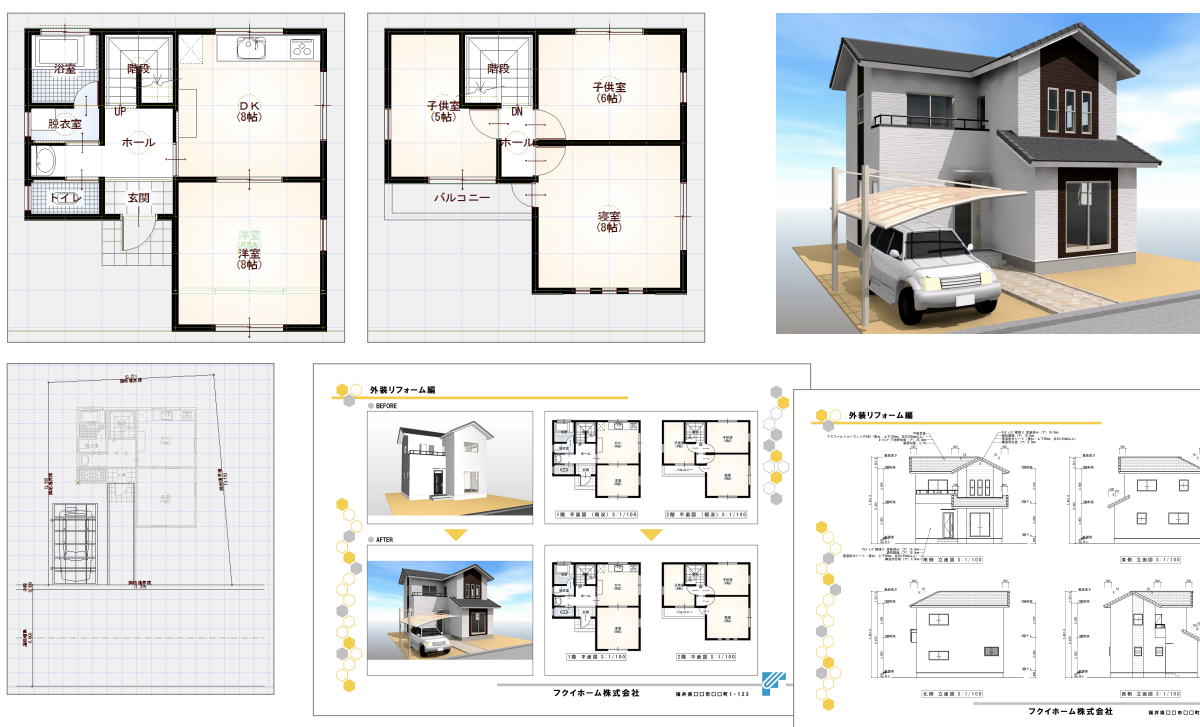
「外装リフォーム編」では、増築をともなう外装リフォームを例に、屋根や敷地、外構の入力、外観パース・立面図作成などの流れを解説します。

※ 本書の解説用データ（2階の部屋・建具を入力済）と完成データを使用するには、リフォームエディションのヘルプから表示されるマニュアルサイトからファイルを一括ダウンロードして、ファイル内の「ReformEdition.mgdz」をマネージャーで取り込んでください（取り込み方法は、Manager編 P.8「お客様データをリストアする」を参照）。

現況図



計画図



1 現況図の作成

「水廻りのリフォーム編」で入力したデータをコピーして使用しましょう。

「外装リフォーム編」では、1 階の間取りデータに玄関ポーチを追加し、2 階の間取りデータや屋根、敷地を入力してみましょ。

1-1 サンプルデータの準備

物件データをエクスポートする

「水廻りのリフォーム編」で作成した現況図データを「外装リフォーム編」の現況図として使用するため、マネージャーで物件圧縮ファイルにエクスポートしましょう。

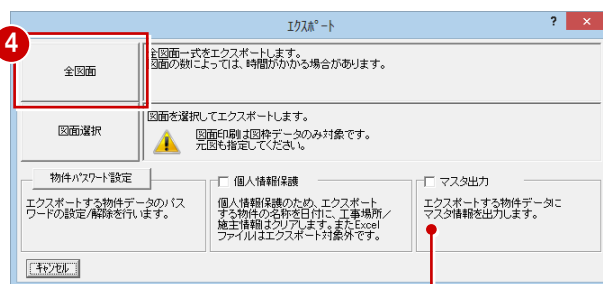
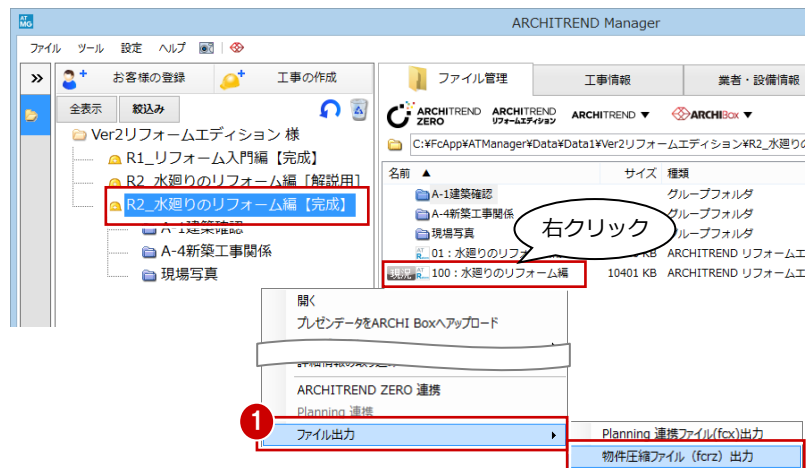
① マネージャーで「水廻りのリフォーム編」の現況図データを選び、ポップアップメニューから「ファイル出力」の「物件圧縮ファイル (fcrz) 出力」を選びます。

② 確認画面で「OK」をクリックします。

③ 「ARCHITREND ZERO データ変換」ダイアログで「OK」をクリックします。

④ 「エクスポート」ダイアログで「全図面」をクリックします。

⑤ 工事内に、物件圧縮ファイル (fcrz) が作成されたことを確認できます。



名前	サイズ	種類
■ A-1建築確認		グループフォルダ
■ A-4新築工事関係		グループフォルダ
■ 現場写真		グループフォルダ
■ 01:水廻りのリフォーム編	34040 KB	ARCHITREND リフォームエ
■ 100:水廻りのリフォーム編	10401 KB	ARCHITREND リフォームエ
■ 100:水廻りのリフォーム編.fcrz	4965 KB	ATリフォームエディシ

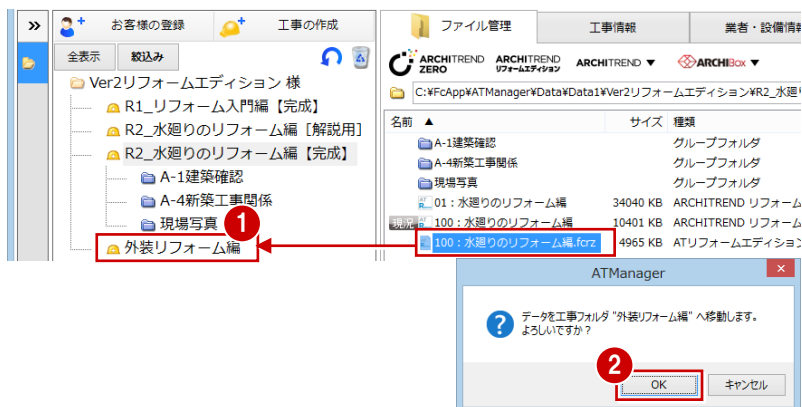
この物件で使用しているマスタデータを出力する場合はチェックを ON にします。
⇒ マスタデータの出力については、「Manager 編」P.5 参照

物件データのコピー・貼り付け

ここでは、物件圧縮ファイルにエクスポートし、現況図として取り込む方法を解説しましたが、「コピー」「貼り付け」を使用して物件データを複製することもできます。その場合、現況図データをコピー・貼り付けしても、物件 No が 1 番 (1 番が存在する場合は空いている上位 No) の計画図として複製されるため、ポップアップメニューの「名前の変更」で物件 No を 100 に変更してから「現況図」「確定プラン」登録・解除の「現況図」を実行する必要があります。

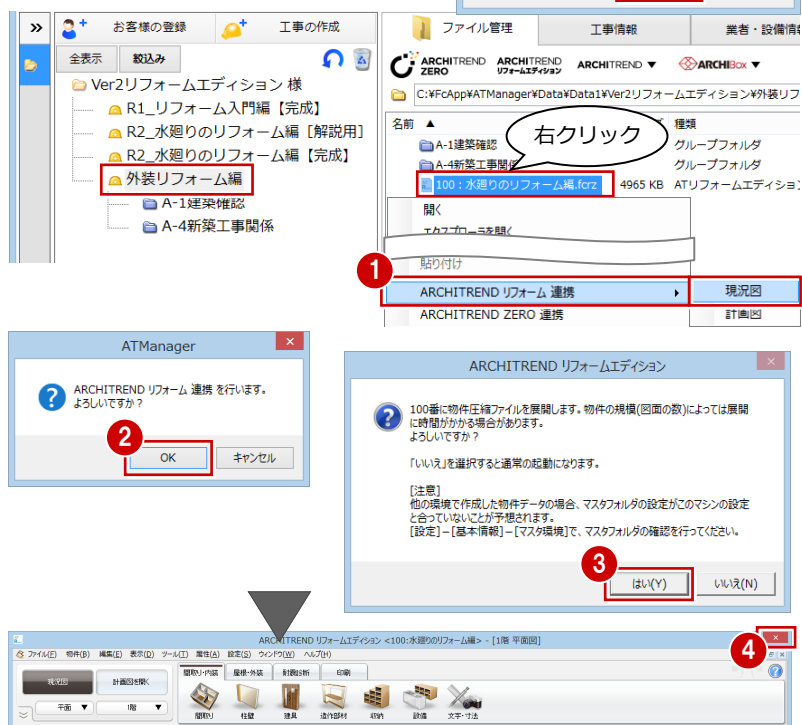
物件圧縮ファイルを移動する

- 「外装リフォーム編」の工事を作成し、物件圧縮ファイル (fcrz) をドラッグ&ドロップします。
- 確認画面で「OK」をクリックします。
物件圧縮ファイル (fcrz) が移動します。



現況図として取り込む

- 「外装リフォーム編」の工事で物件圧縮ファイル (fcrz) を選び、ポップアップメニューから「ARCHITREND リフォーム 連携」の「現況図」を選びます。
- 確認画面で「OK」をクリックします。
- 「100 番に…」の確認画面で「はい」をクリックします。
物件圧縮ファイルが現況図として取り込まれて開きます。
- 一旦、「閉じる」をクリックしてマネージャーに戻ります。

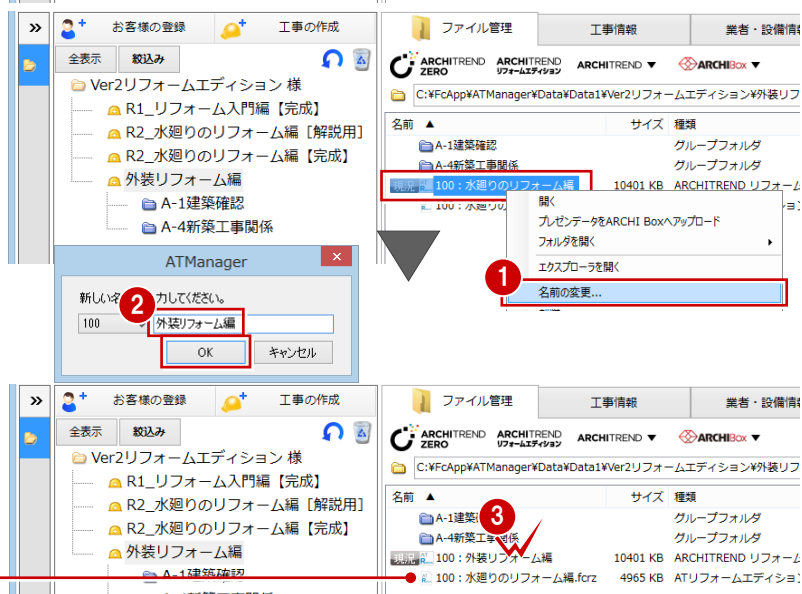


- 工事内に、現況図データが作成されたことを確認できます。



物件名を変更する

- 「外装リフォーム編」の現況図データを選び、ポップアップメニューから「名前の変更」をクリックします。
- 新しい物件名（ここでは「外装リフォーム編」）を入力して、「OK」をクリックします。
物件名が変わります。
- 現況図データをダブルクリックして起動します。

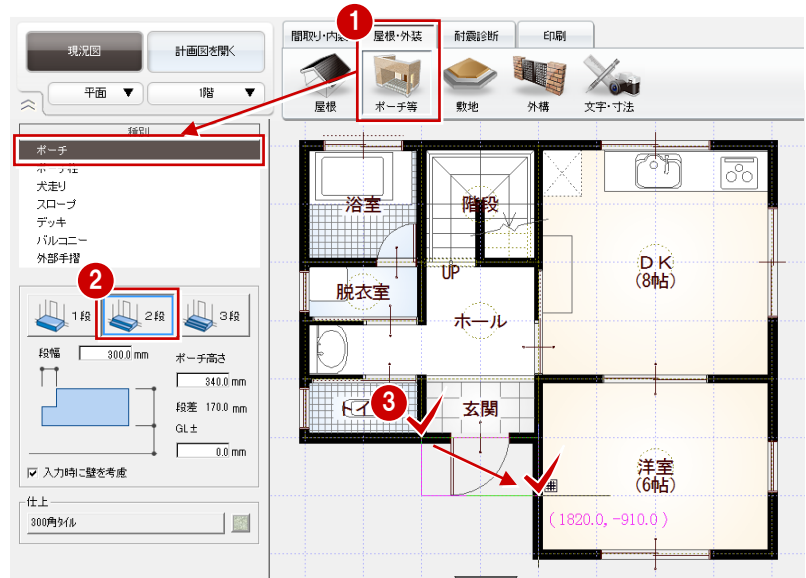


物件圧縮ファイルは削除しても構いません。

1-2 間取りの入力

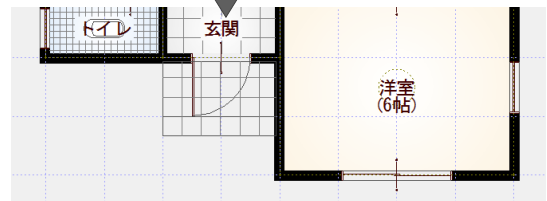
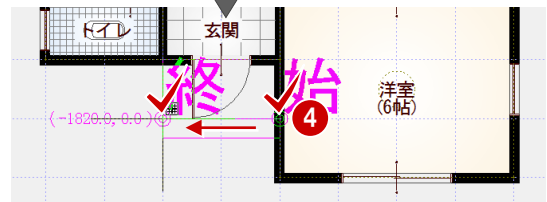
玄関ポーチを入力する

- ① 「屋根・外装」タブの「ポーチ等」をクリックして、「ポーチ」を選びます。
- ② 入力するポーチの段数と幅・高さなどを設定します。
ここでは「2段」を選択します。
- ③ ポーチの上段の範囲を指定します。
- ④ 下段の開始位置、終了位置をクリックします。
2段の玄関ポーチが入力されます。



下段の位置指定について

手順④のポーチの下段は、始点から時計回りに入力します。ただし、始点をクリック後にマウスのホイールボタン(または無変換キー)を押すと、回り方向を反転できます。



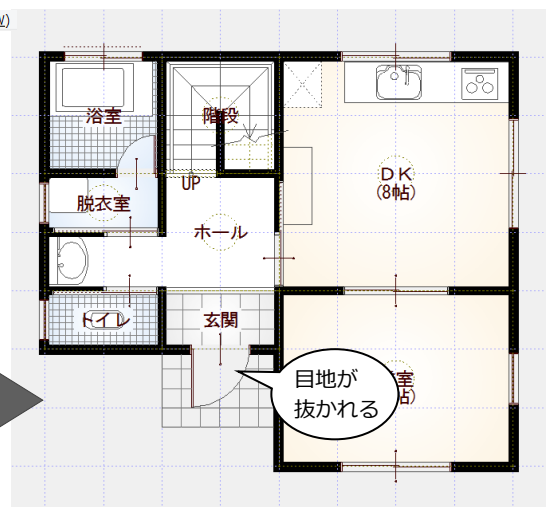
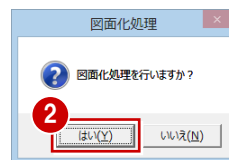
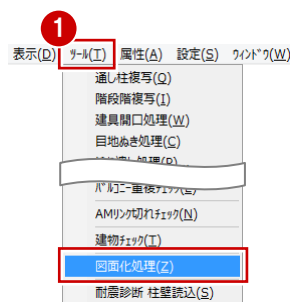
ポーチの目地を抜く

玄関ドアの円弧の部分に目地が入り、外壁仕上にも食い込んでいる状態なので、図面としてきれいに仕上げましょう。

- ① プルダウンメニューから「ツール」の「図面化処理」を選びます。
- ② 確認画面で「はい」をクリックします。

右ダブルクリック

図面化処理は、CAD 画面で右ダブルクリックしても実行できます。



2 階の部屋・建具を入力する

「階・面の切り替え」から「2 階」を選んで、右図のように部屋と建具を入力します。



⇒ 部屋入力については、
「基本操作編」P.5 参照

⇒ 建具入力については、
「リフォームプラン作成編」P.6 参照

※ ●→ は、入カタイプが「始点寄せ」の場合の入力開始点です。

2 枚引違戸 (アルミ) 「w1650h1800」
w1650h1800
入カタイプ：始点寄せ
取付高：部屋床高参照

片開ドア (木製) 「単体ドア Aタイプ」
単体ドア Aタイプ
入カタイプ：始点寄せ
取付高：部屋床高参照

片開ドア (アルミ) 「w600h1800」
w600h1800
入カタイプ：始点寄せ
取付高：部屋床高参照

上げ下げ窓 (アルミ) 「w740h900」
w740h900
入カタイプ：中央
取付高：鴨居高参照

2 枚引違窓 (アルミ) 「w1650h900」
w1650h900
入カタイプ：中央
取付高：鴨居高参照

階段を描く

- プルダウンメニューから「ツール」の「階段階複写」を選びます。
- 「複写元」が「1 階」になっていることを確認して、「OK」をクリックします。

2 階に複写された階段

2 階に複写された階段は導線が下向きになり、立体では表現されないようにプロパティも設定されています。

1 現況図の作成

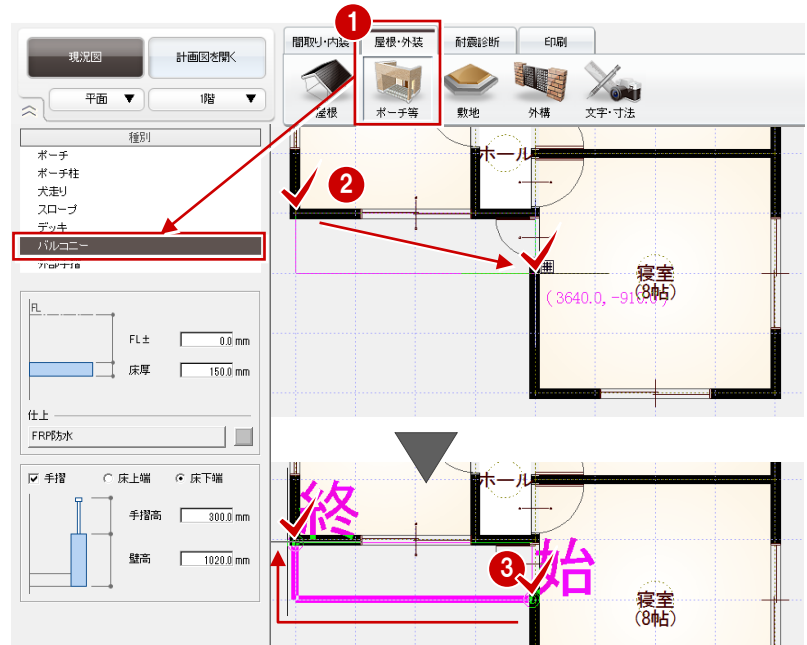
バルコニーを入力する

- バルコニーを入力する -

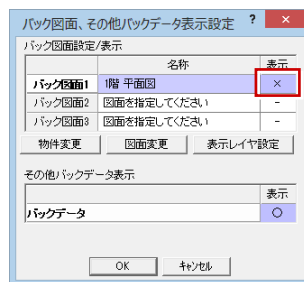
- 1 「屋根・外装」タブの「ポーチ等」をクリックして、「バルコニー」を選びます。
- 2 バルコニーの範囲を指定します。
- 3 手摺の開始位置、終了位置をクリックします。

手摺の位置指定について

手摺は、始点から時計回りに入力します。ただし、始点をクリック後にマウスのホイールボタン（または無変換キー）を押すと、回り方向を反転できます。

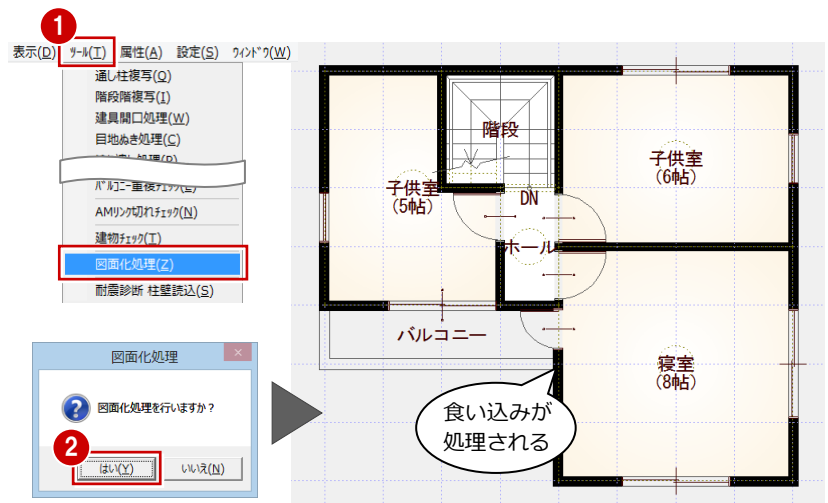


ここでの解説図は、1階のバック図面を非表示にしています。
 ⇒ バック図面については、「リフォームプラン作成編」P.12 参照



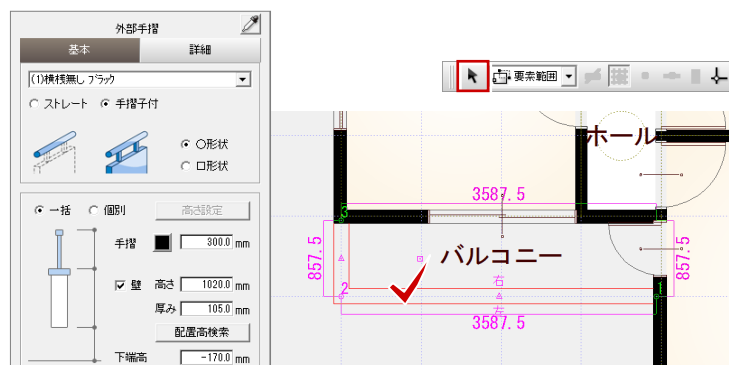
- 図面化処理を実行する -

- 1 プルダウンメニューから「ツール」の「図面化処理」を選びます。
- 2 確認画面で「はい」をクリックします。外壁仕上に食い込んだ部分がきれいに処理されます。



手摺の詳細を設定するには

バルコニーを入力後に手摺を選択すると、プロパティパネルで手摺の形状や高さなどを変更できます。



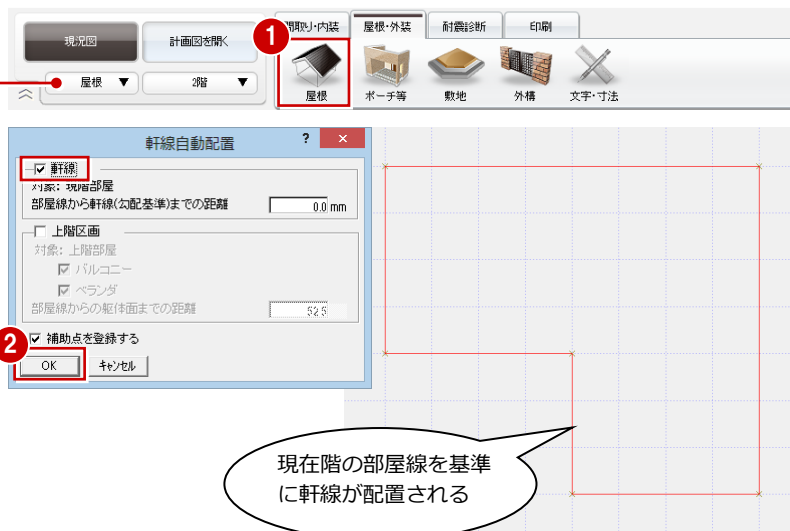
1-3 屋根の入力

2 階の屋根を入力する

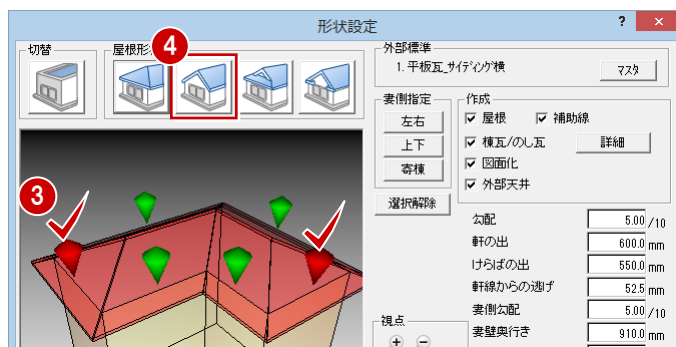
- 1 「屋根」をクリックします。
屋根伏図が開きます。
- 2 「軒線」が ON になっていることを確認して、「OK」をクリックします。

軒線とは

軒線は、軒の位置を表す基準線です。
屋根の自動配置では、軒線と上階区画（上階建物の躯体面）を考慮して作成されます。



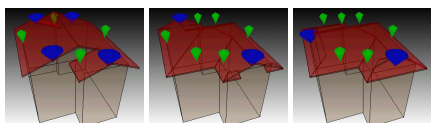
- 3 続いて、軒線に寄棟屋根を載せたイメージの形状設定画面が表示されます。
屋根形状を設定する屋根面のマーカーを右図のようにクリックします（2か所）。
- 4 「切妻」をクリックします。
- 5 選択した屋根が切妻の表現に変更されたことを確認して、「OK」をクリックします。



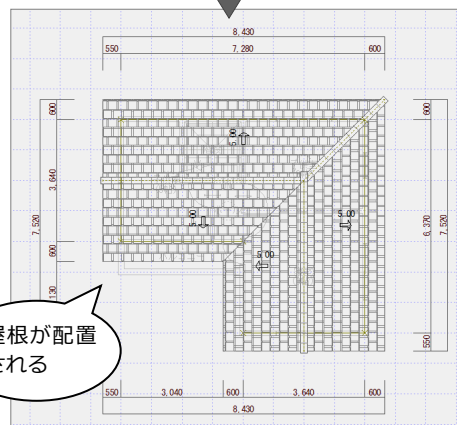
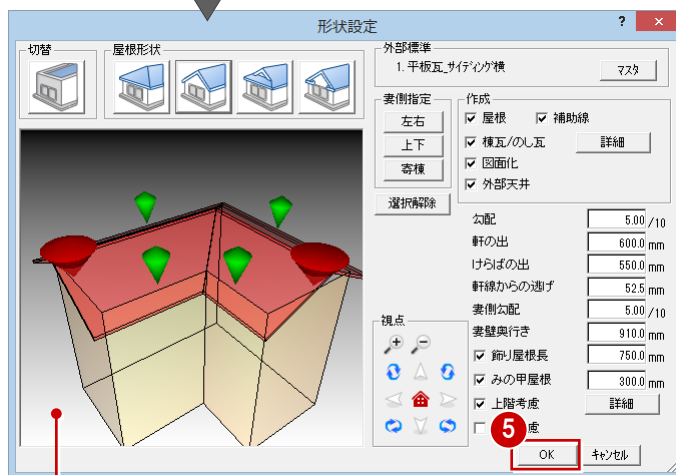
モニタ上のマーカー

- 緑：屋根形状が寄棟（選択状態：赤）
- 青：切妻・飾り切妻・入母屋の妻側（選択状態：赤）

モニタ上のマーカーを選択して「屋根形状」のボタンを押すことで、切妻・寄棟などの形状に変えることができます。



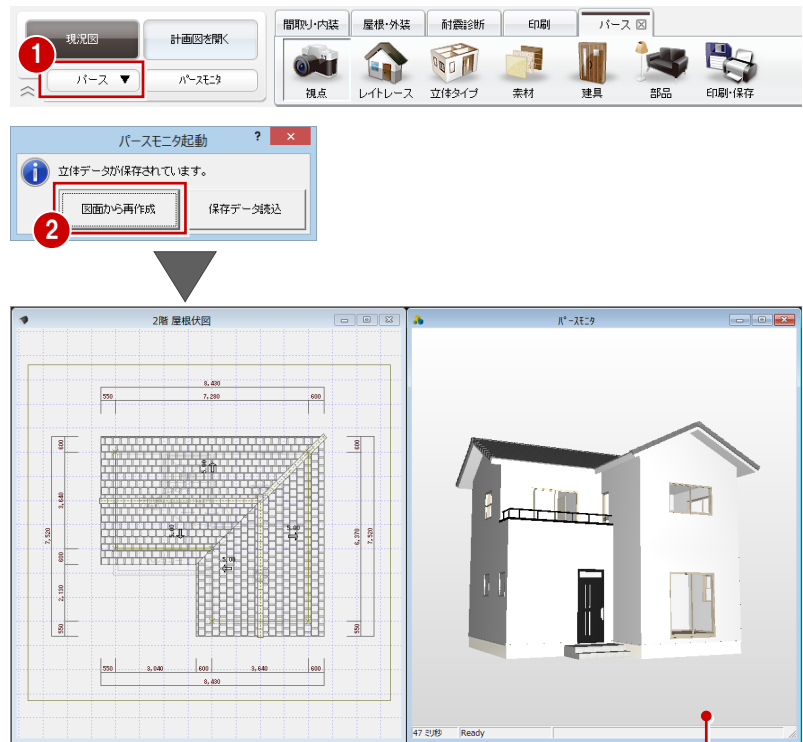
屋根の形状を初期の状態に戻すには、「寄棟」をクリックします。



1 現況図の作成

立体を確認する

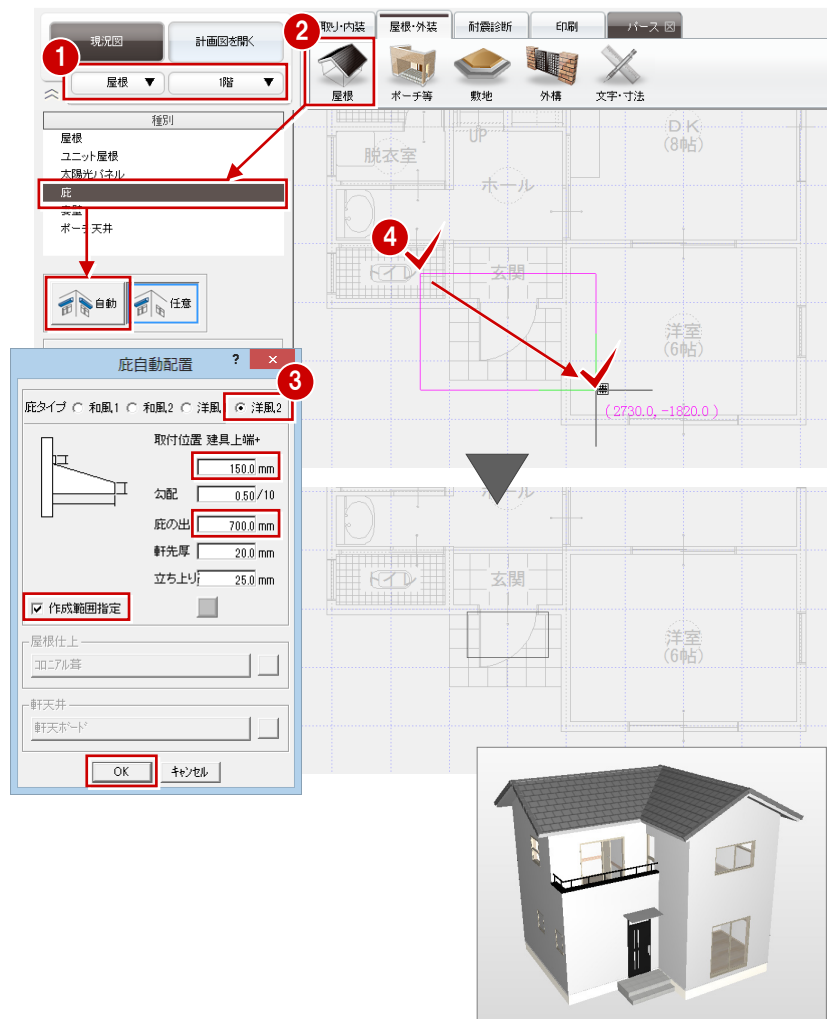
- 「図面の切り替え」から「パース」を選んでパースモニタを開きます。
- 確認画面で「図面から再作成」をクリックします。
- 視点を変更して、外観を確認しましょう。



屋根伏図からパースを開いた場合は、全階の立体が外観の角度で表示されます。
 ⇒ 開いた図面による立体の違いについては、「水廻りのリフォーム編」P.30 参照

1 階の庇を入力する

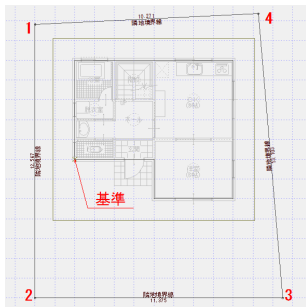
- 屋根伏図に戻り、1階を表示します。
- 「屋根」をクリックして、「庇」の「自動」を選びます。
- 庇の形状や高さなどを設定します。
 ここでは、次のように設定して、「OK」をクリックします。
 「庇タイプ」：洋風2
 「取付位置」：150
 「庇の出」：700
 「作成範囲指定」：ON
- 庇を配置する範囲（ここでは、玄関ドア部分）を指定します。
 指定した範囲内にある平面図の建具データを参照して、庇が自動配置されます。



1-4 敷地の入力

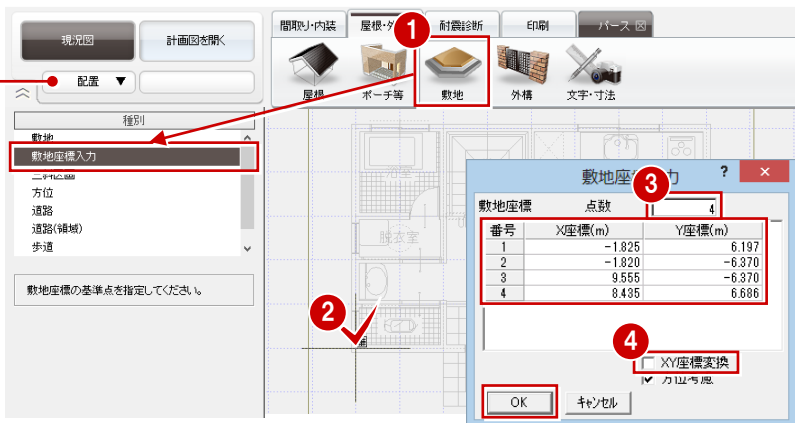
敷地を座標入力する

ここでは、建物の角を基準にした敷地の座標値が、右図のようにわかっている場合の入力方法を解説します。



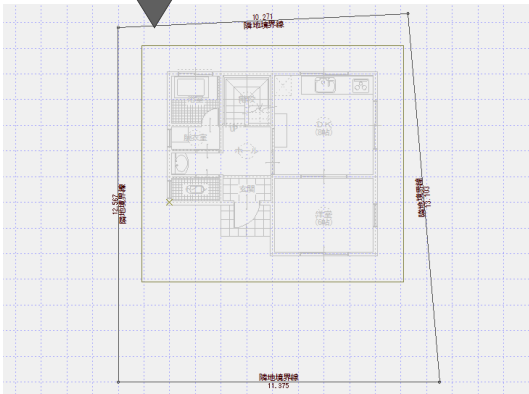
点番	X 座標	Y 座標
1	-1.825	6.197
2	-1.820	-6.370
3	9.555	-6.370
4	8.435	6.686

- 「敷地」をクリックして、「敷地座標入力」を選びます。
配置図が開きます。
- 座標の基準点をクリックします。
- 「点数」を「4」に変更して、各点の X 座標、Y 座標を入力します。
- 「XY 座標変換」を OFF にして、「OK」をクリックします。

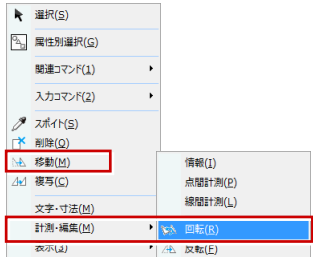


XY 座標変換
測量のデータを基に座標を入力する場合は、「XY 座標変換」を ON にして、そのまま X と Y の座標値を入力します。
測量座標系は X・Y 座標が反対になっているので、敷地の座標値が入れ替わって入力されます。

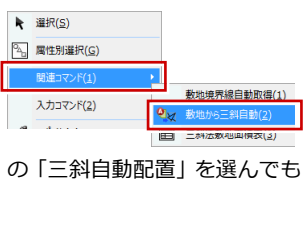
注意：座標点の順番
座標点の順番が、敷地に対して右回りが左回りで整列されている必要があります。入力領域にねじれがあるような座標点の場合、「OK」をクリックすると「敷地がねじれています」という警告画面が出ます。そのときは、座標にねじれた部分がないかを確認してください。



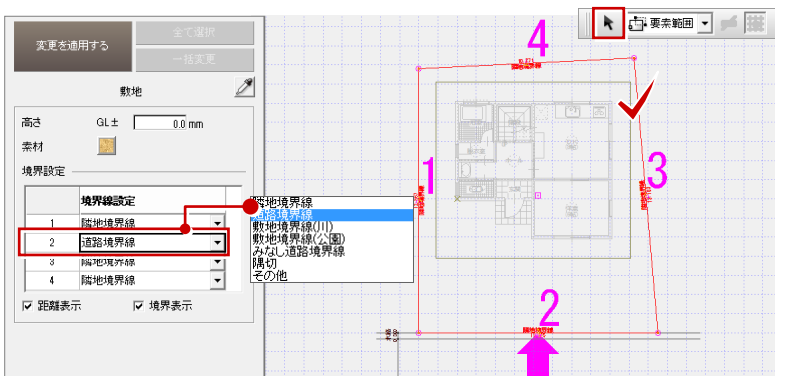
敷地の移動・回転
敷地を移動・回転するには、ポップアップメニューのコマンドを使用します。
方位や道路なども同時に移動・回転するときは、すべて選択してからポップアップメニューのコマンドを実行します。



敷地から三斜区画を作成するには
配置済みの敷地から三斜区画を作成するには、敷地を選んで、ポップアップメニューから「関連コマンド」の「自動三斜」を選びます。
プルダウンメニューから「ツール」の「三斜自動配置」を選んでも同様です。



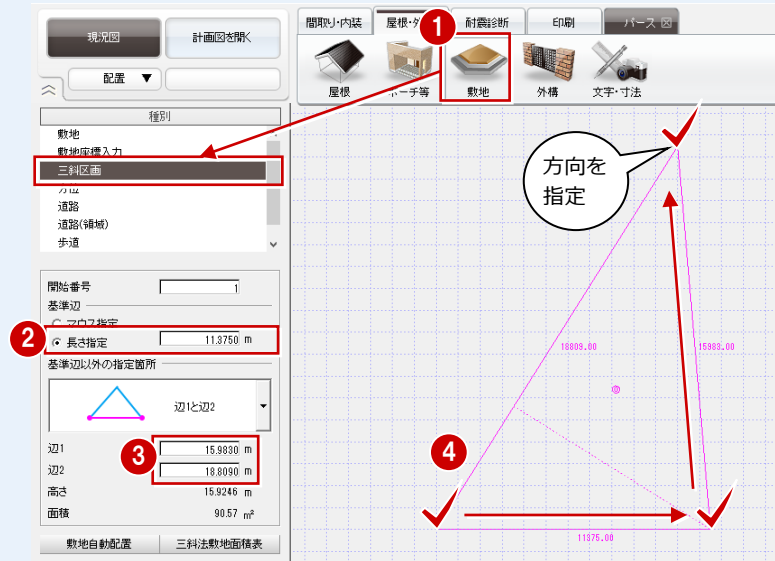
敷地の境界線設定
「隣地境界線」の表記を「道路境界線」などに変更したい場合は、敷地を選択してプロパティパネルで設定します。
CAD 画面で敷地辺の番号を確認して、プロパティパネルでその番号の「境界線設定」を変更します。
道路を入力済みの場合は、敷地を選択してポップアップメニューの「関連コマンド」の「敷地境界線自動設定」を実行しても設定できます。



【補足】三斜区画から敷地を入力するには

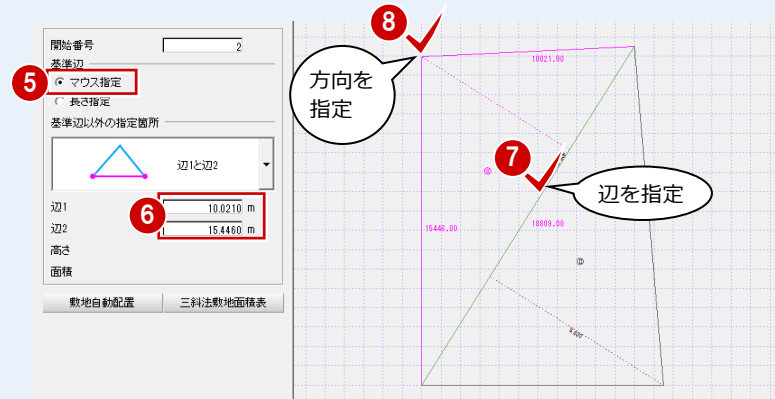
一 三斜区画①を入力する 一

- ① 「敷地」をクリックして、「三斜区画」を選びます。
配置図が開きます。
- ② 「長さ指定」にチェックを入れ、「11.375」に変更します。
- ③ 次のように設定を変更します。
「辺 (1)」: 15.983
「辺 (2)」: 18.809
- ④ 三斜区画の3辺を順に指定します。



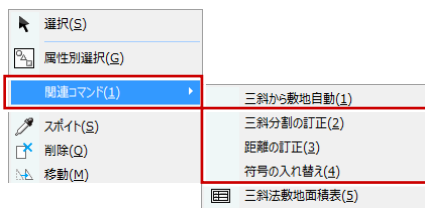
一 三斜区画②を入力する 一

- ⑤ 「マウス指定」にチェックを入れます。
- ⑥ 次のように設定を変更します。
「辺 (1)」: 10.021
「辺 (2)」: 15.446
- ⑦ 先ほど入力した区画に接する辺をクリックします。
- ⑧ マウスを動かしてどちら側を辺 (1)、辺 (2) にするかを指定します。



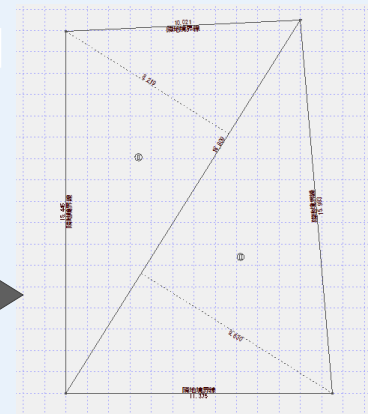
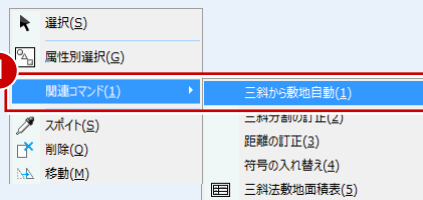
三斜区画を編集するには

三斜区画の距離を訂正する場合は、三斜区画を選んで、ポップアップメニューから「関連コマンド」の「三斜区画距離の訂正」を選びます。プルダウンメニューから「ツール」の「距離の訂正」を選んで同様です。また、その他に三斜分割を訂正したり、符号を入れ替えたりすることができます。



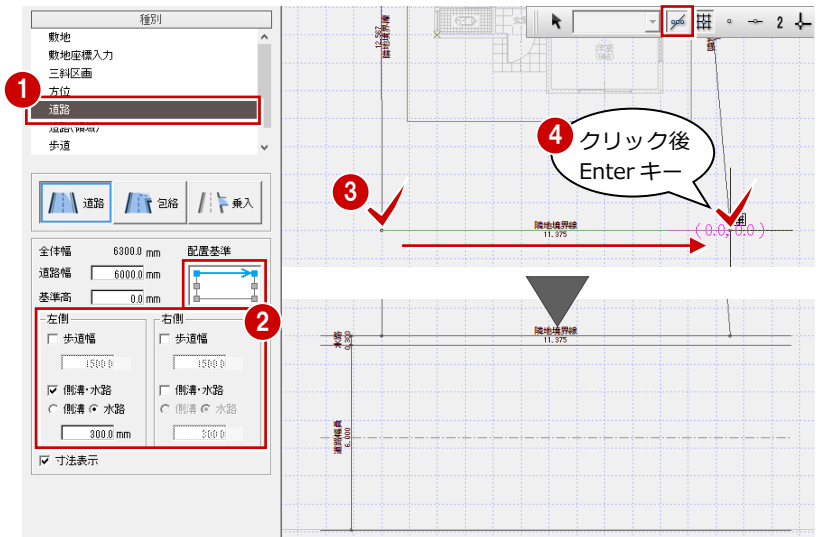
一 敷地を自動配置する 一

- ① 三斜区画を選んで、ポップアップメニューから「関連コマンド」の「三斜から敷地自動」を選びます。
プルダウンメニューから「ツール」の「敷地自動配置」を選んで同様です。
- ② 敷地面積表を配置する場合は「OK」をクリックして、表の配置位置を指定します。配置しない場合は「キャンセル」をクリックします。



道路を入力する

- 「道路」をクリックします。
- 配置基準や左右の幅などを設定します。
ここでは、次のように設定します。
「配置基準」：左面
「左側」：歩道 OFF、水路 300 mm
「右側」：歩道 OFF、側溝・水路 OFF
- 道路の始点、終点をクリックします。
（「端点・交点ピック」ON）
- Enter キー（またはポップアップメニューの「OK」）で確定します。



画像を作成する

「パース」タブの「レンダリング」をクリックして、「印刷・保存」で現況の外観パースを作成しましょう（後ほどプレゼンボードで使用します）。

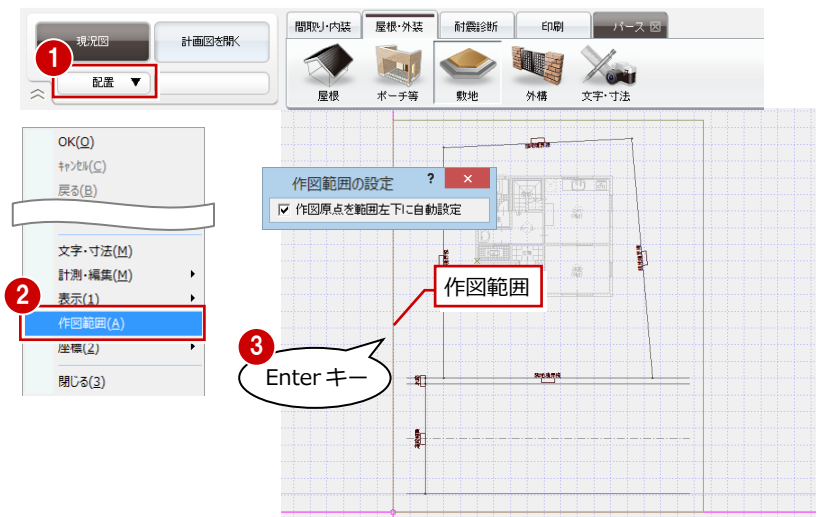
⇒ 設定および画像の作成については、「リフォームプラン作成編」P.17、19 参照

「背景／光源モード」：モニタ
「品質レベル」：標準
「調光」：標準




作図範囲を設定する

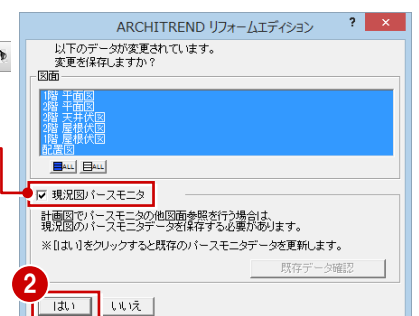
- 「図面の切り替え」から「配置」を選んで図面に戻ります。
- ポップアップメニューから「作図範囲」を選びます。
- Enter キー（またはポップアップメニューの「OK」）を押すと、敷地と道路が納まるように作図範囲が設定されます。



データを保存する

- フローティングバーの  をクリックします。
- 確認画面で「はい」をクリックします。

「現況図パースモニタ」を ON にして保存するとパースが再作成されます。パースの視点などを保存しておきたい場合は、パースを保存後、このチェックを OFF にして図面データを保存します。



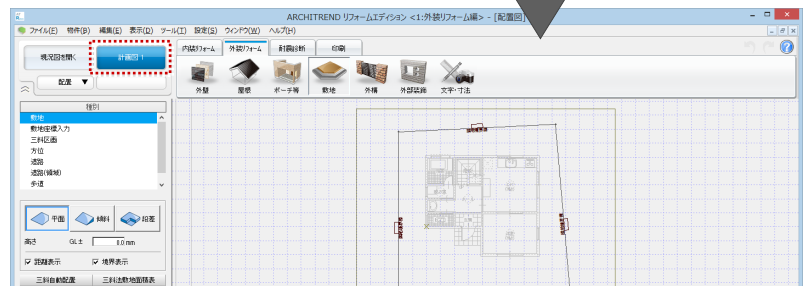
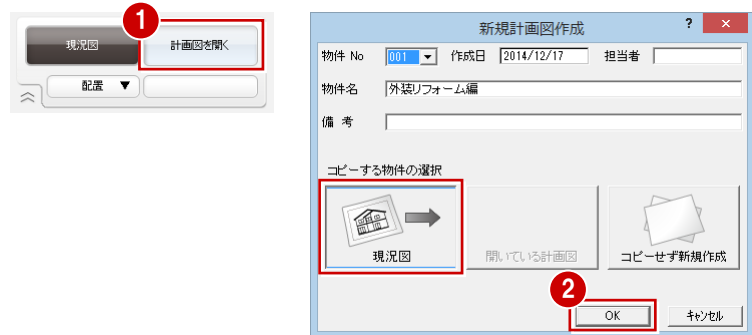
2 計画図の作成

現況図ができれば、それをもとにリフォームの計画図を作成しましょう。
ここでは、間取りの変更にもなう屋根の追加入力や外装の変更などを解説します。

2-1 計画図データの作成

計画図を開く

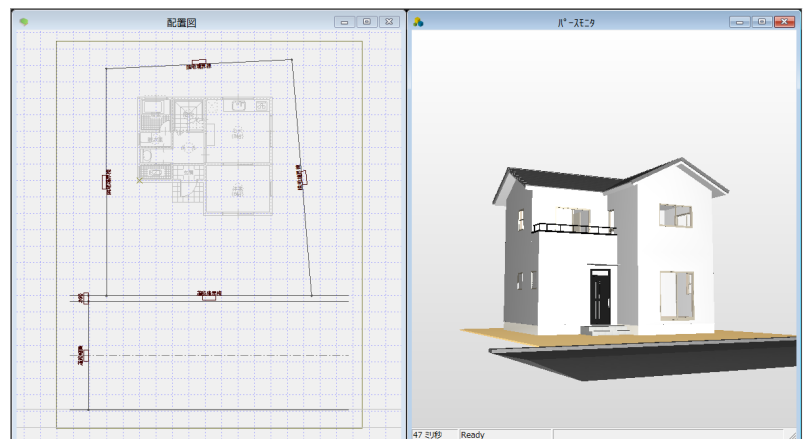
- 「計画図を開く」をクリックします。
- 「コピーする物件の選択」が「現況図」になっていることを確認して、「OK」をクリックします。
現況図がコピーされた状態で、計画図 1 が開きます。



立体を確認する

- 「図面の切り替え」から「パース」を選んでパースモニタを開きます。

※ 平面図・天井伏図からパースを開いて、その階のみの立体が作成された場合は、「立体タイプ」をクリックして、「全階」で再作成しておきましょう。



⇒ 立体タイプについては、「水廻りのリフォーム編」P.31 参照

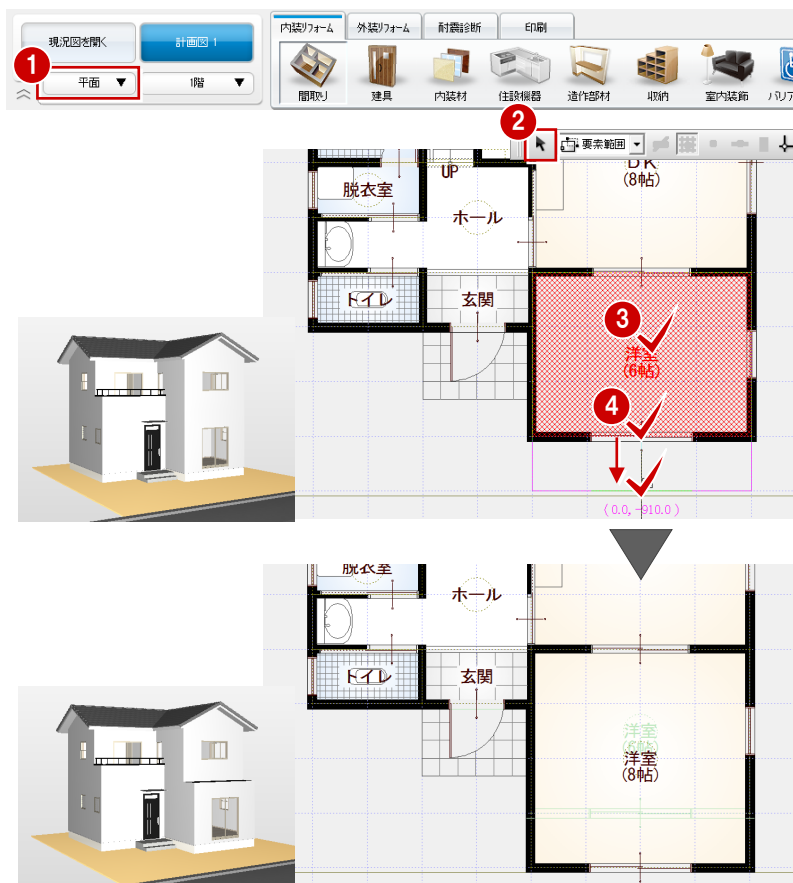
2-2 間取りの変更

部屋を拡張する

ここでは1階の洋室を増築するため、トラックで部屋を拡張しましょう。

- 1 「図面の切り替え」から「平面」を選びます。
- 2,3 「洋室」を選択します。
- 4 トラック（△）をクリックして、右図の位置まで部屋を拡張します。

⇒ トラックの操作については、「基本操作編」P.14 参照



屋根を入力する

- 1 「外装リフォーム」タブの「屋根」をクリックします。
- 2 「軒線」と「上階区画」がONになっていることを確認して、「OK」をクリックします。

上階区画とは

上階建物の躯体面のラインです。
上階区画を作成しておく、下階の屋根を配置する際に、上階建物がない部分にだけ屋根を作成させることができます。
バルコニーやベランダも考慮します。

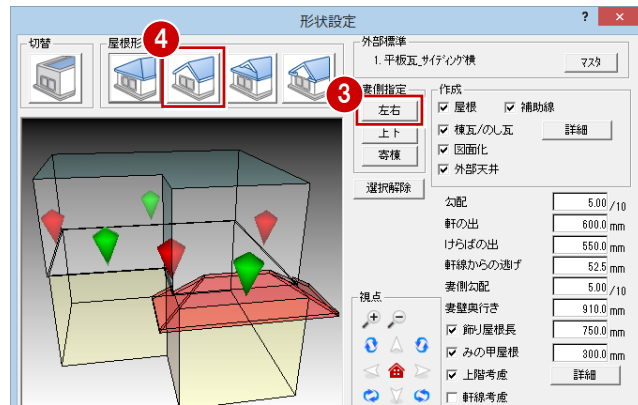


続いて、「形状設定」ダイアログが表示されます。

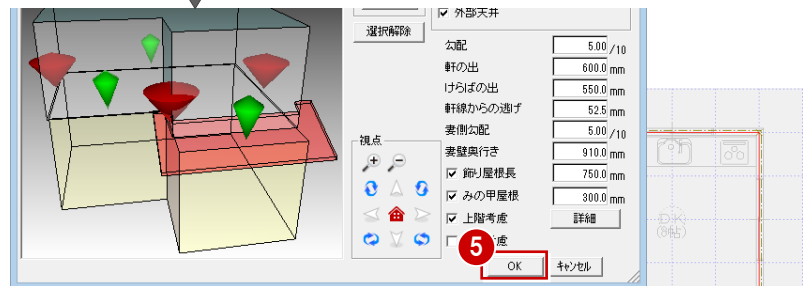
2 計画図の作成

- ③ 「左右」をクリックします。
屋根の左右面に位置するマーカーが選択されます。

- ④ 「切妻」をクリックします。

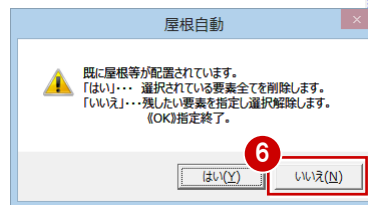


- ⑤ 1階の屋根が片流れに変更されたことを確認して、「OK」をクリックします。



- ⑥ 屋根や底などが存在する場合、右図のような確認画面が表示されるので、「いいえ」をクリックします。

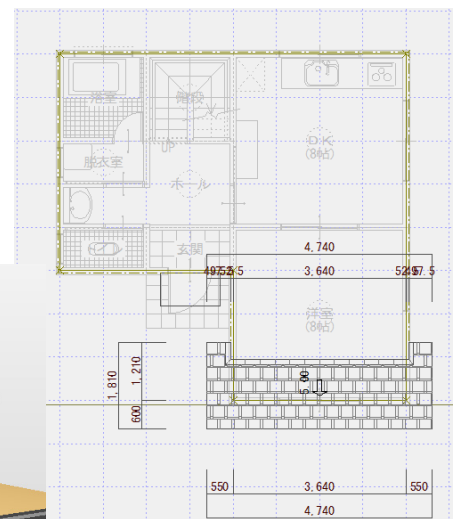
※ 「はい」をクリックした場合は、存在する屋根などを削除して新たに作成します。



- ⑦ 残したい屋根をクリックして選択状態を解除します（赤くない状態にします）。
- ⑧ Enter キー（またはポップアップメニューの「OK」）を押すと、屋根が作成されます。

Enter キー

⇒ 様々な屋根・天井の入力例については、「リフォーム応用編」P.38 参照

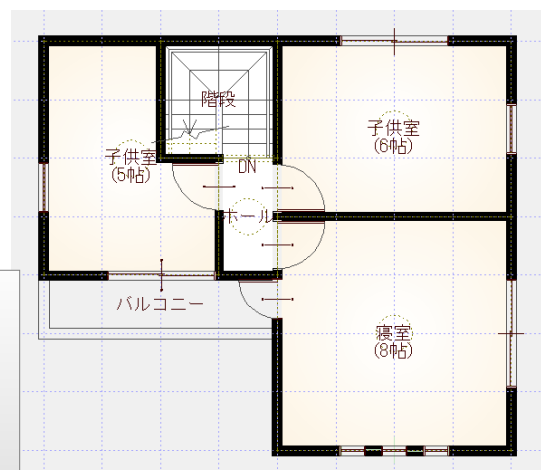
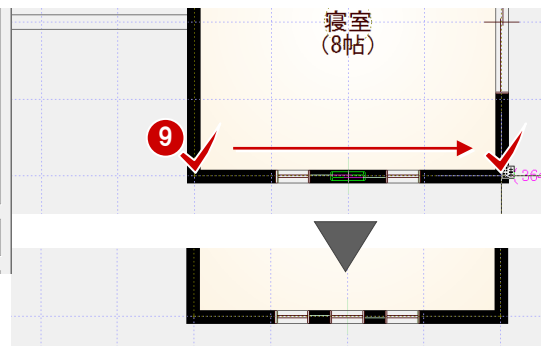
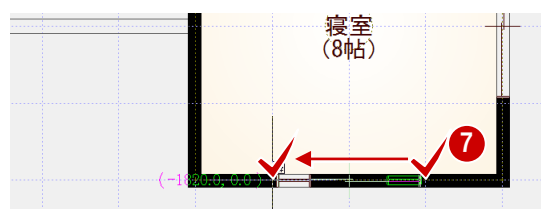
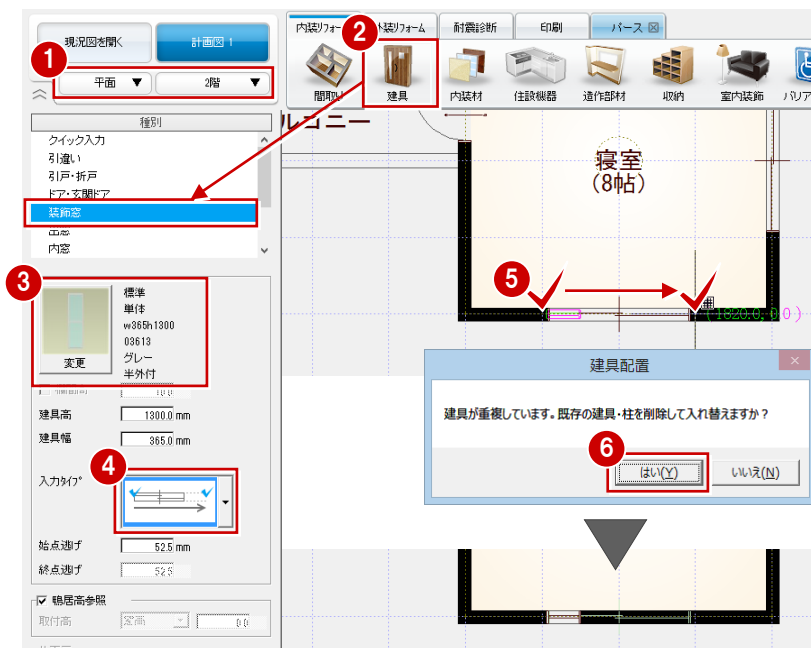


2-3 外装の変更

建具を入れ替える

2階寝室の窓を、引違から3つの窓に変更しましょう。

- ① 平面図を開き、2階を表示します。
 - ② 「建具」をクリックして、「装飾窓」を選びます。
 - ③ 建具を選択します。
上げ下げ窓（アルミ）
「w365h1300」
 - ④ 入力タイプを「始点寄せ」に変更します。
 - ⑤ 右図のように、既存の引違窓に重ねて入力します。
 - ⑥ 確認画面で「はい」をクリックします。
既存の引違窓が削除されて、上げ下げ窓に替わります。
- ※ 「いいえ」をクリックした場合は、重複して入力されます。
- ⑦ もう1か所は、入力方向を反対にして入力します。
 - ⑧ 中央の窓は、入力タイプを「中央」に変更して入力します。



外壁を変更する

－ すべての階の外壁を変更する －

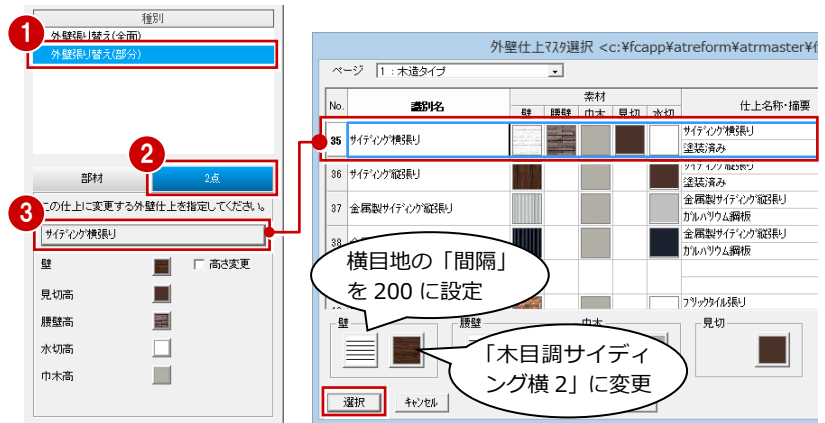
- ① 「外装リフォーム」タブの「外壁」をクリックして、「外壁張り替え（全面）」を選びます。
- ② 対象が「全ての階」であることを確認します。
- ③ 変更後の外壁仕上を選びます。
ここでは、「No.35:サイディング横張り」を選び、壁の素材を「サイディング 172」に変更します。
- ④ 「実行」をクリックします。
- ⑤ 確認画面で「はい」をクリックすると、すべての階の外壁仕上が変わります。
- ⑥ 確認画面で「OK」をクリックします。



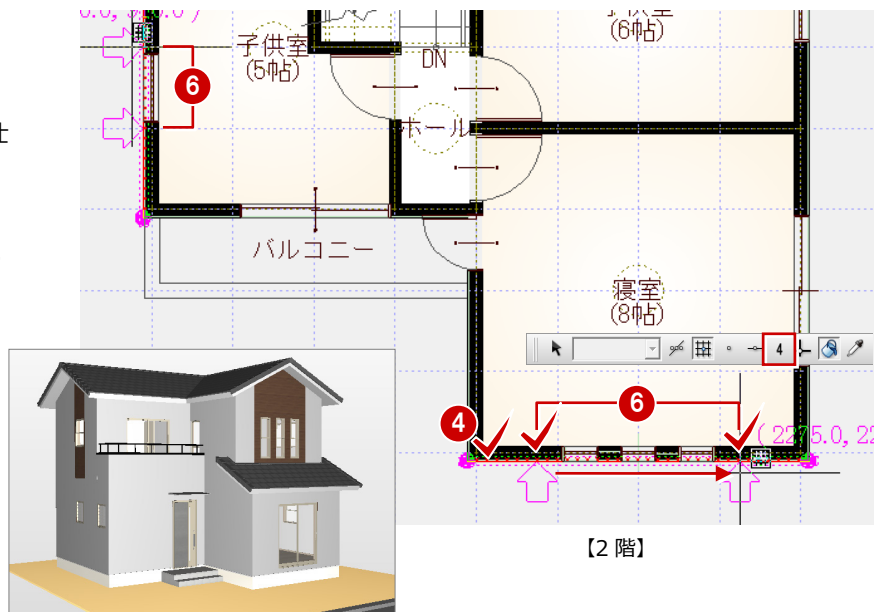
－ 外壁を部分的に変更する －

外壁を部分的に張り分けてみましょう。

- ① 「外壁張り替え（部分）」をクリックします。
- ② 対象を「2点」に変更します。
- ③ 変更後の外壁仕上を選びます。
ここでは、「No.35:サイディング横張り」を選び、壁の素材を「木目調サイディング横 2」に変更、目地を横目地「間隔」200 mmに設定します。

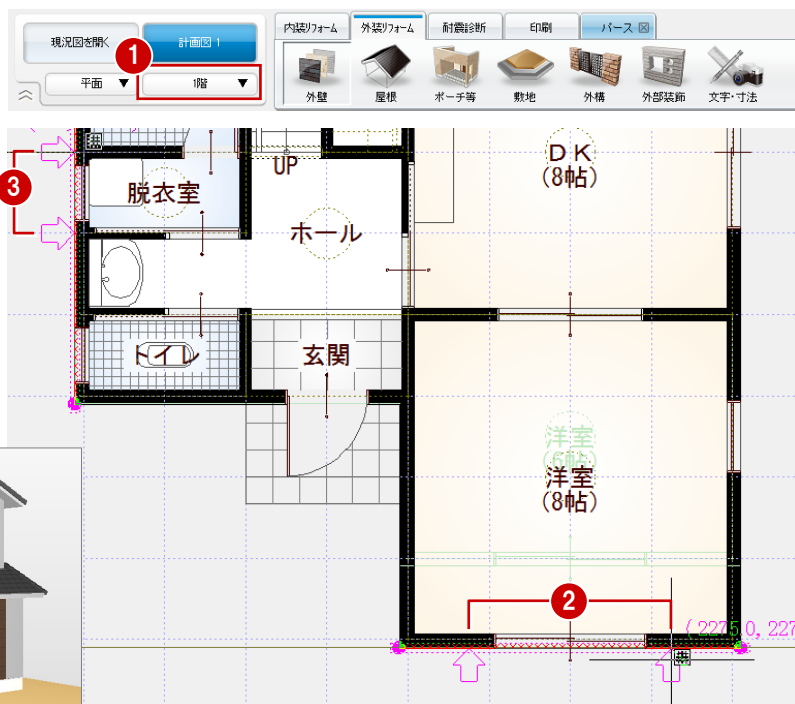


- ④ 分割する外壁仕上をクリックします。
ここでは、3つの上げ下げ窓部分の外壁仕上を指定します。
- ⑤ 分割点として、右図のように上げ下げ窓から1/4グリッド外側の位置をクリックします。
(グリッド分割数：「4」)
- ⑥ 同様にして、西側の上げ下げ窓部分も仕上を分割します。
(分割位置はグリッド上)



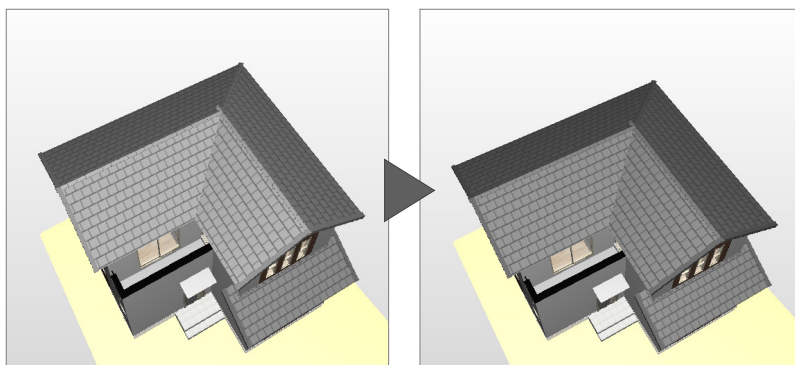
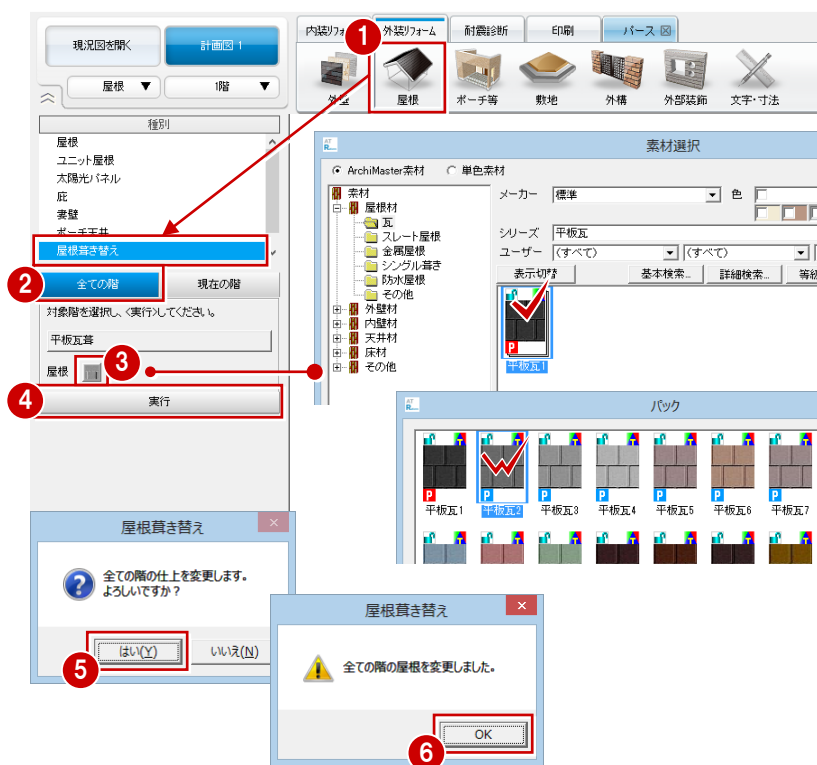
－ 1階の外壁を部分的に変更する －

- ①～③ 2階と同様にして、1階の外壁も部分的に変更します。



屋根を葺き替える

- 「屋根」をクリックして、「屋根葺き替え」を選びます。
- 対象が「全ての階」であることを確認します。
- 変更後の屋根仕上げを選びます。
ここでは、屋根の素材を「平板瓦 1」の「平板瓦 2」に変更します。
- 「実行」をクリックします。
- 確認画面で「はい」をクリックすると、すべての階の屋根仕上げが変わります。
- 確認画面で「OK」をクリックします。

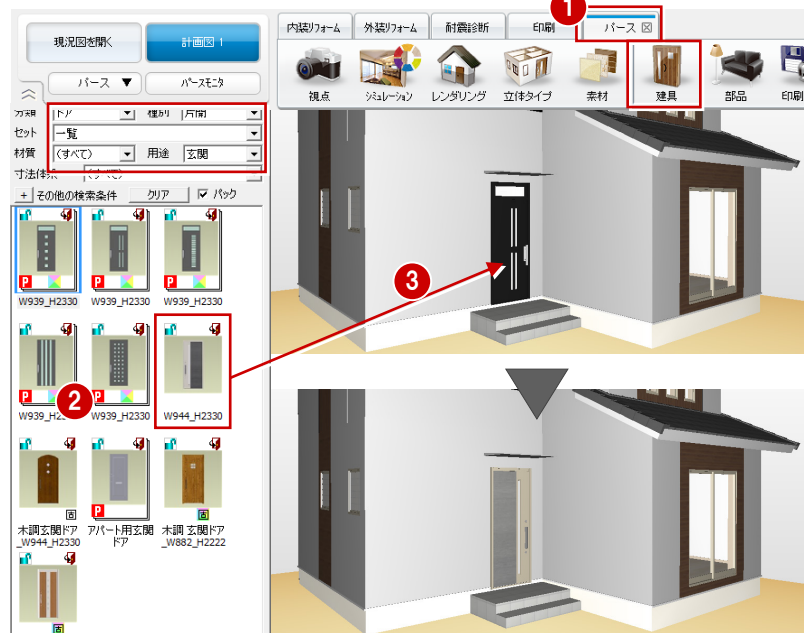


2 計画図の作成

パースから建具を変更する

玄関ドアを変更しましょう。

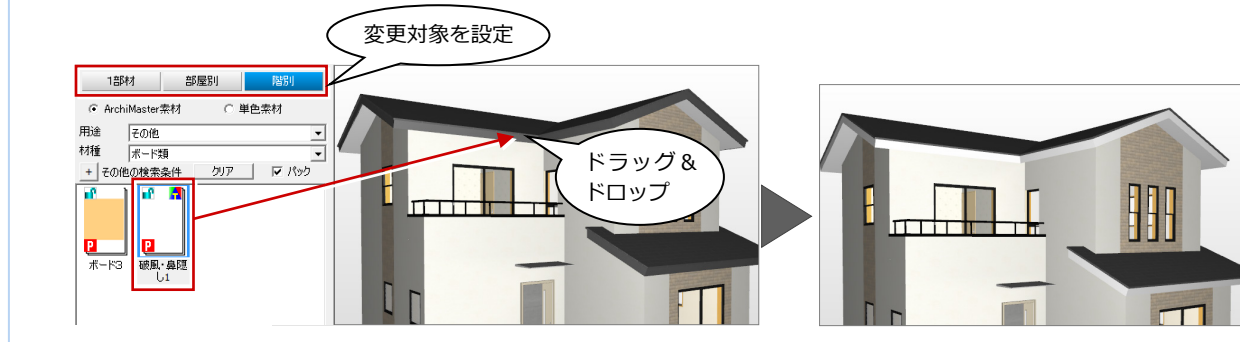
- ① 「パース」タブの「建具」をクリックします。
- ② 変更後の建具を選びます。
「分類」：ドア
「種別」：片開
「用途」：玄関
「品名」：W944_H2330
- ③ パースモニタの玄関ドア上へドラッグ＆ドロップします。



破風の素材を変更

破風の素材をパースで変更できます。

「素材」をクリックします。変更対象を選択し、パースモニタの破風へ素材をドラッグ＆ドロップします。

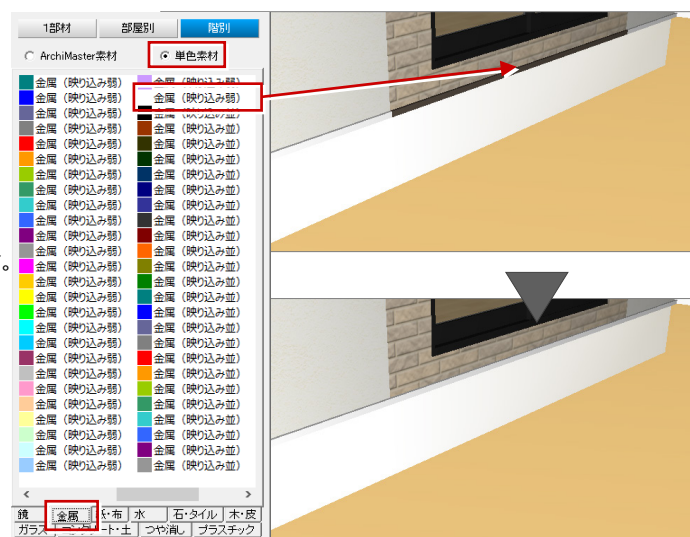


単色素材を使用する

テクスチャ (BMP、JPEG などの画像ファイル) を使った「ArchiMaster 素材」と、カラー要素 (「赤」「緑」「青」「色合い」「鮮やかさ」「明るさ」) で表現される「単色素材」を使用することができます。

「単色素材」の「金属」タブをクリックして、「金属 (映り込み弱)」を選びます。

水切等変更する部位へ素材をドラッグ＆ドロップします。




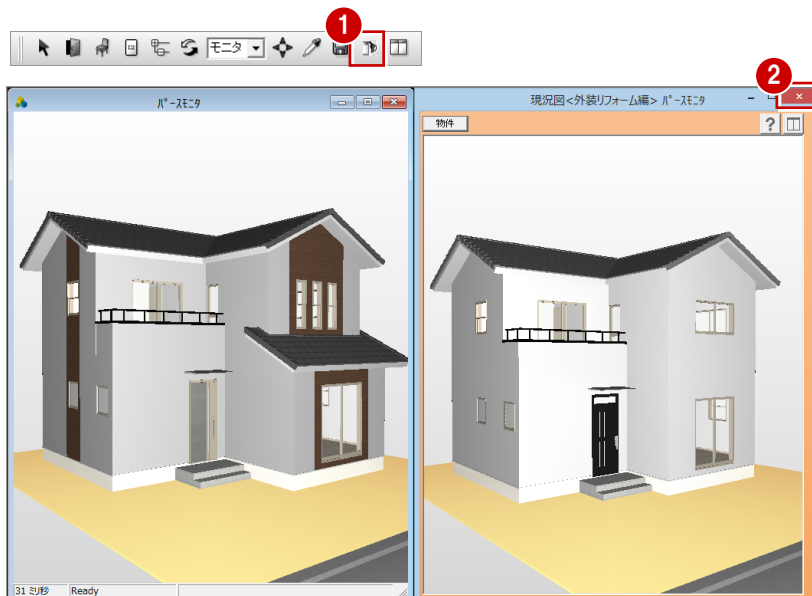
スポイト



入力済みデータの属性を取得することができます。素材などを変更する場合、スポイト機能を使ってその属性を取得すると、素材を選択する手間を省くことができ便利です。

変更前と比較する

- 1 フローティングバーの  をクリックします。
現況図のパーツが並べて表示されます。
- 2 確認が終了したら、「現況図」ウィンドウを閉じます。



3 パースの作成

アプローチ、カーポート、自動車を入力して、外観パースを作成しましょう。

3-1 外構の入力



アプローチを入力する

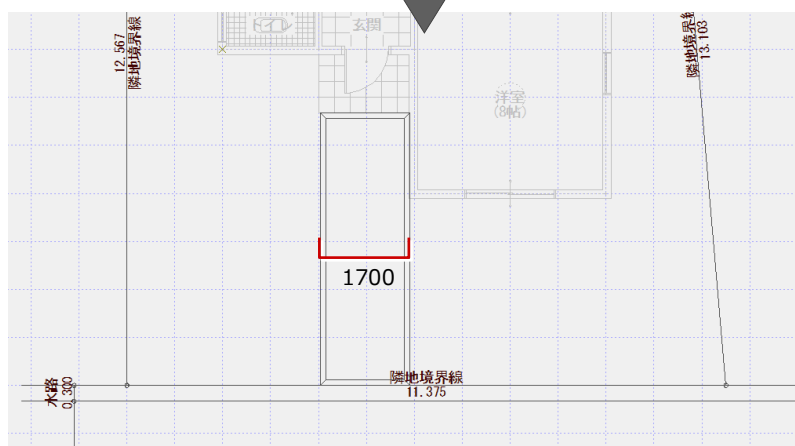
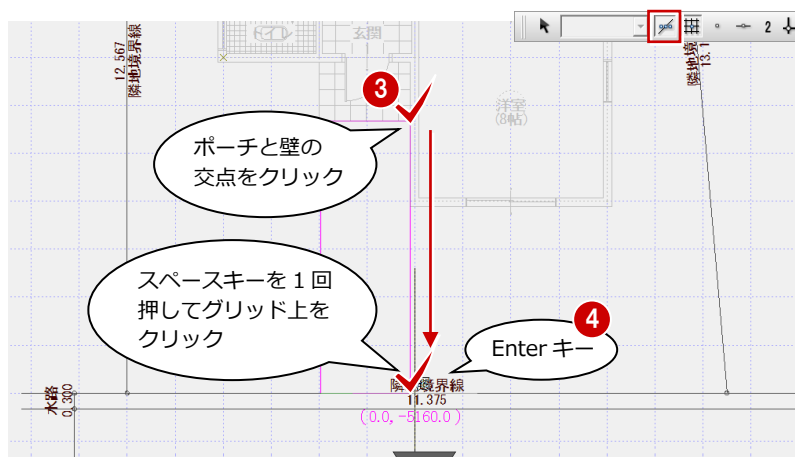
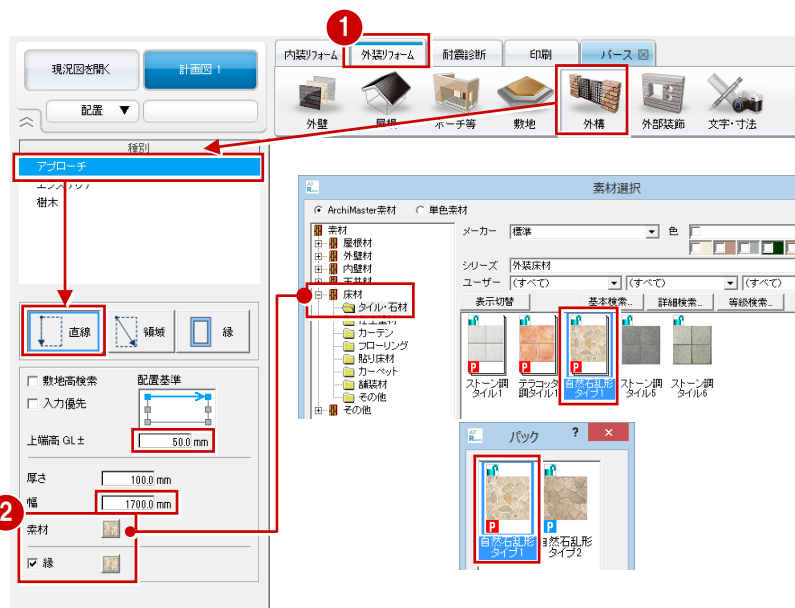
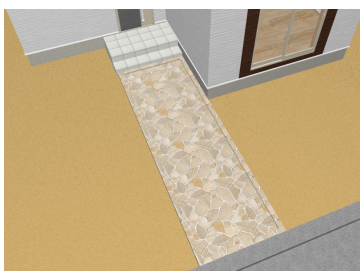
－ アプローチを連続線を入力する －

- 「外装リフォーム」タブの「外構」をクリックして、「アプローチ」の「直線」を選びます。
- 高さや素材などを設定します。
「上端高」：50
「幅」：1700
「素材」：「自然石乱形タイプ1」の
「自然石乱形タイプ1」
「縁」：ON
「自然石乱形タイプ1」の
「自然石乱形タイプ1」
- アプローチの頂点を入力します。
始点は、ポーチと壁の交点をクリックします（「端点・交点ピック」ON）。
次にスペースキーを1回押して、敷地辺上のグリッドをクリックします。
- Enterキー（またはポップアップメニューの「OK」）を押すと、アプローチが配置されます。

ドラフター機能

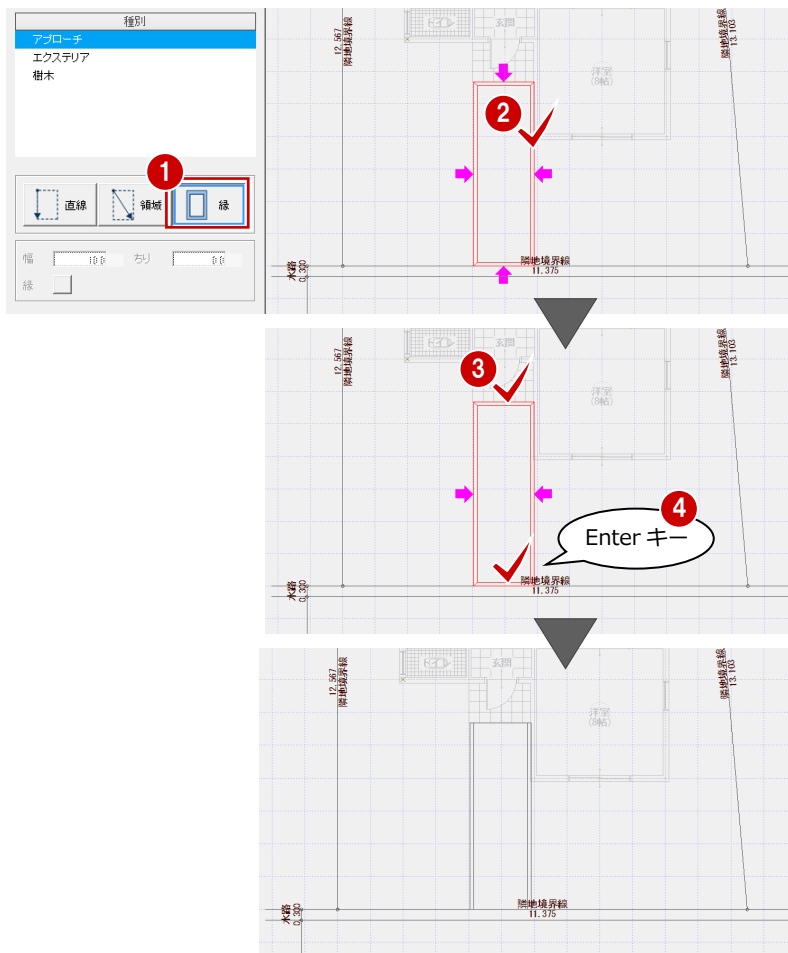
スペースキーを押すとドラフター機能が有効になり、クリックした位置から水平・垂直方向に次の点を固定できます。

フローティングバーの  をON  にしても同様です。



- アプローチの縁を設定する -

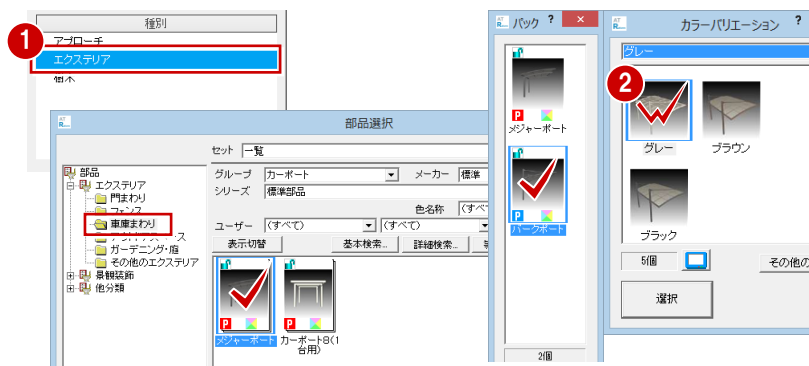
- ① 「アプローチ」の「縁」をクリックします。
- ② アプローチをクリックします。
縁が設定されている辺に矢印が表示されます。
- ③ 右図のように、縁が不要な辺をクリックして矢印を解除します（2か所）。
- ④ Enterキー（またはポップアップメニューの「OK」）を押すと、縁が設定されます。



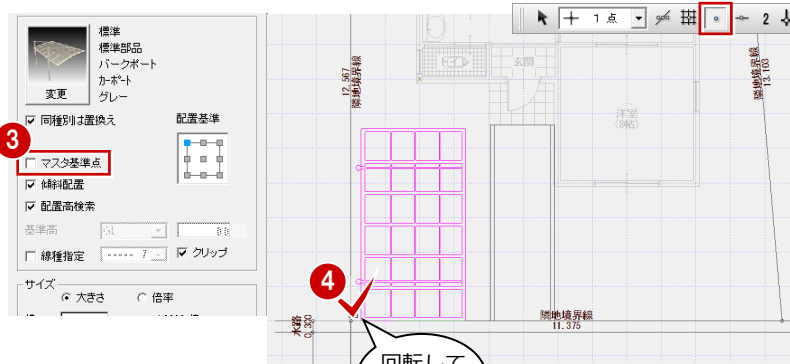
エクステリア部品を入力する

- カーポートを入力する -

- ① 「エクステリア」をクリックします。
- ② ここでは、次の部品を選びます。
「分類」：エクステリア
「種別」：車庫まわり
「品名」：メジャーポート
「バック」：パークポート
「カラーバリエーション」：グレー



- ③ 「マスタ基準点」がOFFであることを確認します。
- ④ マウスのホイールボタン（または無変換キー）で部品の向きを回転して、右図のように配置します。
（「フリーピック」のみON）



3 パースの作成

- 自動車を入力する -

①～③ 同様にして、自動車も配置します。

「分類」：景観装飾

「種別」：添景自動車・自転車

「品名」：RV



樹木

樹木を入力したい場合は、「樹木」をクリックし、マスタを指定します。

種別
アプローチ
エクステリア
樹木

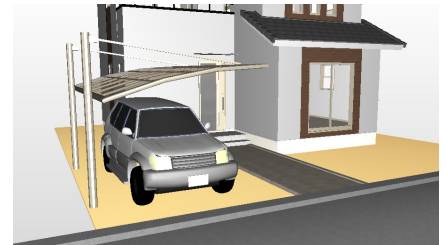
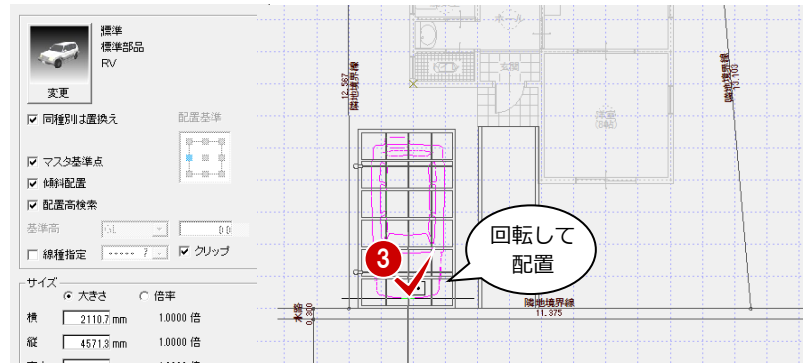
グループ 常緑広葉樹種
ページ 高木

No.	樹種	高さ
91	クスノキ	5000.0
92	クスノキ	5000.0
93	クスノキ	8000.0

1000

平面表現 立面表現 パース透き

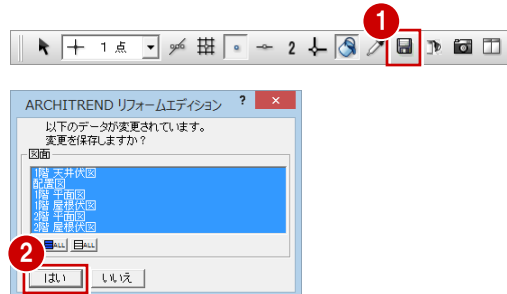
下階高GL± 0.0
直径 2710.0 mm
高さ 5000.0 mm



データを保存する

① フローティングバーの をクリックします。

② 確認画面で「はい」をクリックします。

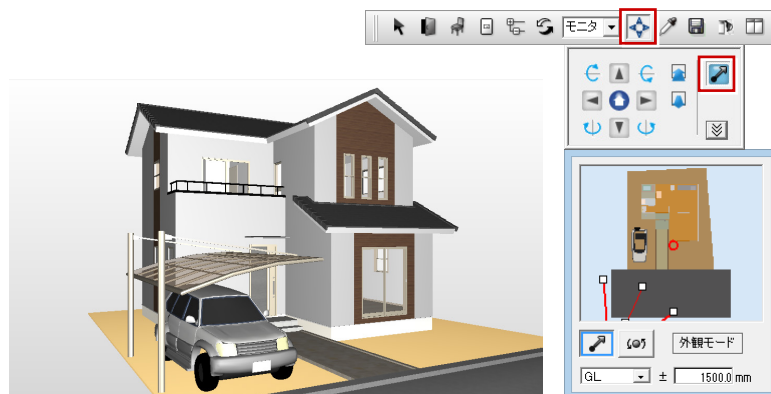


3-2 外観パースの作成

視点を設定する

「視点コントローラ」や「視点モニタ」を使って、視点を設定します。

⇒ 視点の設定方法については、「基本操作編」P.18 参照



画像を作成する

「レンダリング」をクリックして、「印刷・保存」で画像を作成します。

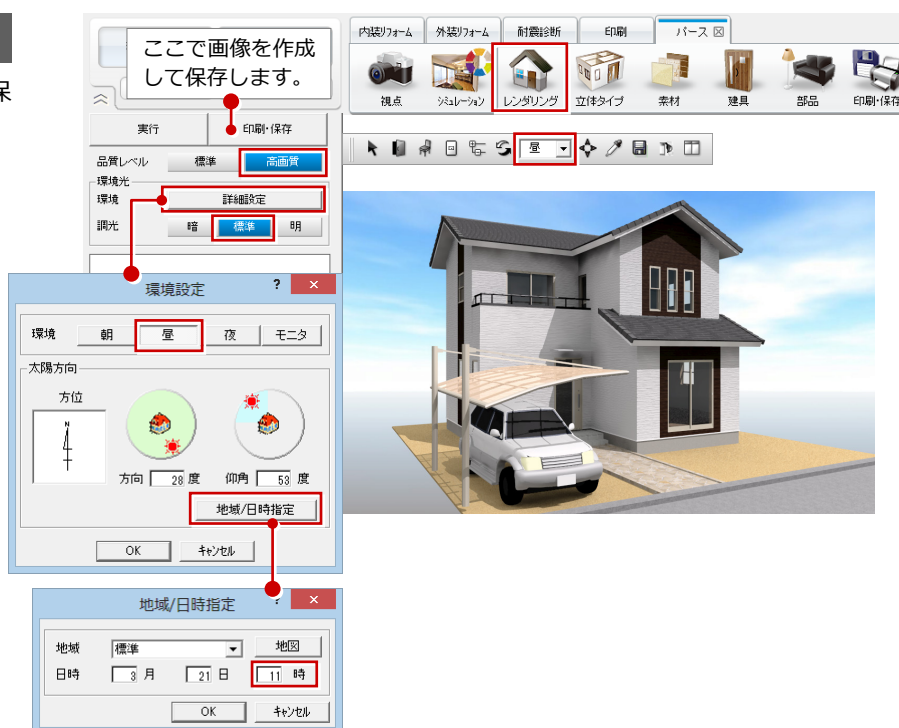
⇒ 設定および画像の作成については、「リフォームプラン作成編」P.17、19 参照

「背景/光源モード」：昼


「品質レベル」：高画質

「環境」：太陽方向 28 度、仰角 53 度
(3 月 21 日 11 時)

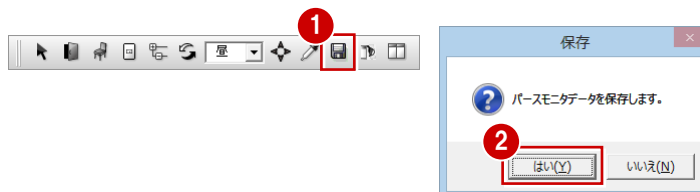
「調光」：標準



パースモニタデータを保存する

① パース用フローティングバーの  をクリックします。

② 確認画面で「はい」をクリックします。



4 立面図の作成

立面図を作成しましょう。

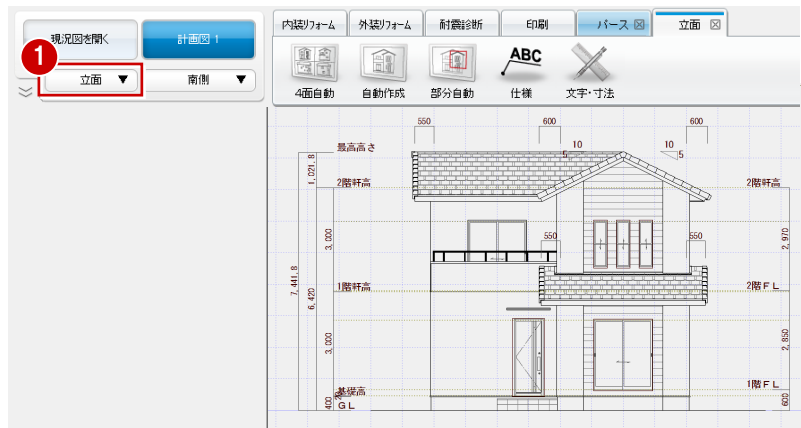
ボタン1つで、高さ寸法や屋根勾配などが入った状態まで作成されます。

また、仕上仕様を追加してみましょう。

4-1 立面図の作成

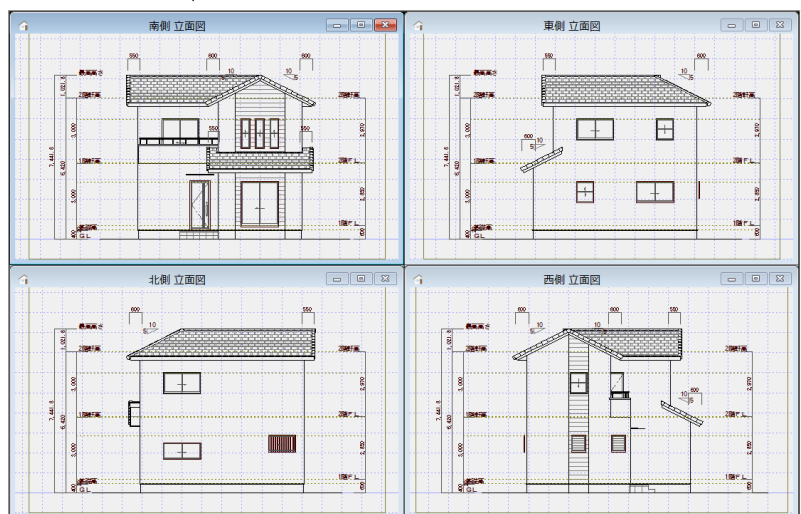
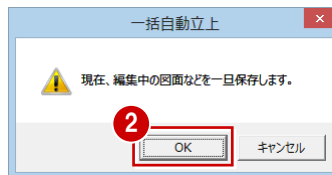
立面図を自動作成する

- 「図面の切り替え」から「立面」を選びます。
南側立面図が自動作成されます。



他の面を作成する

- 「4面自動」をクリックします。
- 確認画面で「OK」をクリックします。
立面図4面が開いて、自動作成が開始されます。

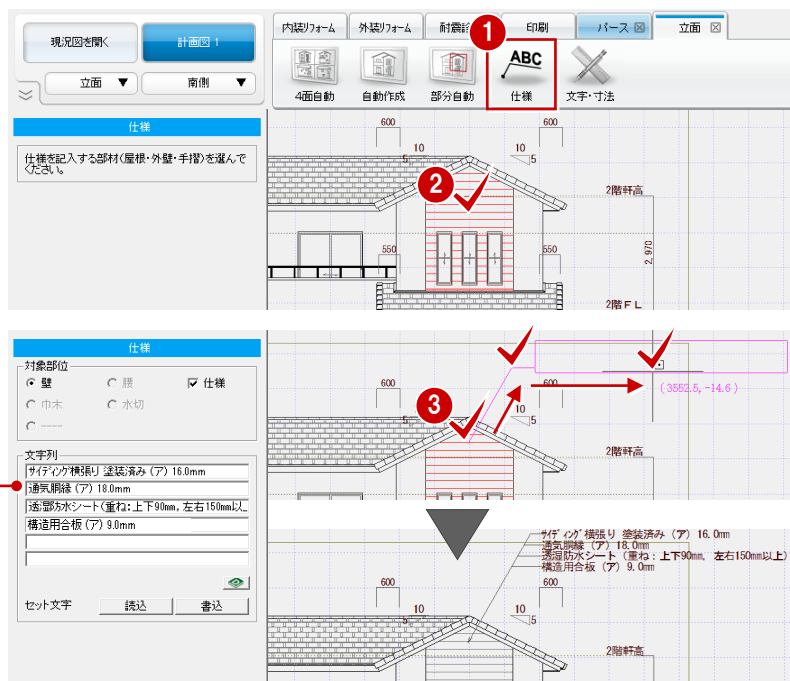


4-2 加筆修正

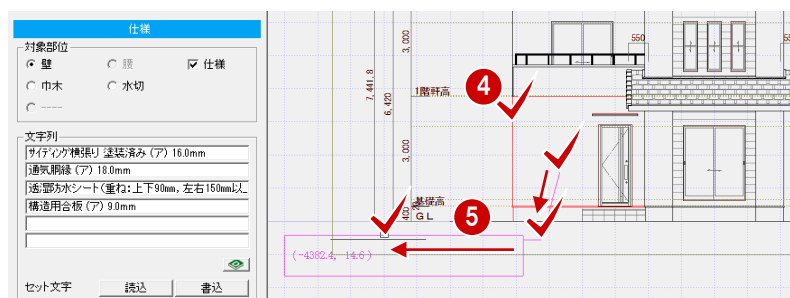
仕上仕様を入力する

- 1 南側立面図を最大化して、「仕様」をクリックします。
- 2 仕様を記入する部材（ここでは外壁仕上）をクリックします。
- 3 引出線の始点、終点、文字列の方向の順にクリックします。

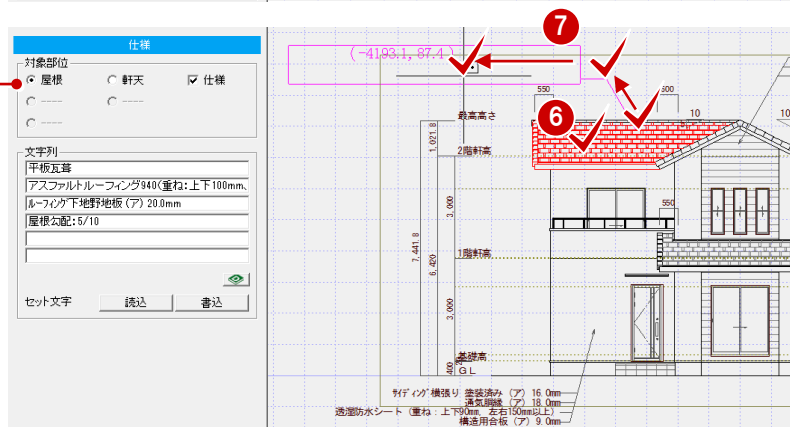
仕上仕様の名称を変更するときは、こちらの文字列を修正して仕上仕様を入力します。




- 4~7 同様にして、他の外壁仕上や屋根にも仕上仕様の引出線を入力します。

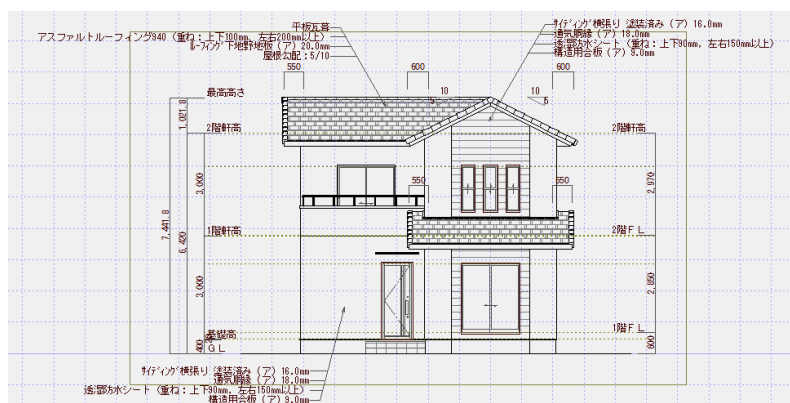


クリックしたデータに複数の部位が含まれる場合は、こちらで対象部位を選択できます。



データを保存する

フローティングバーの  をクリックしてデータを保存します。



5 図面の印刷

作成した図面やパースをレイアウトしましょう。

ここでは、プレゼンボード風の図面枠を一部修正してレイアウトする流れを解説します。

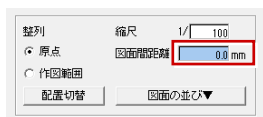
5-1 プレゼンボードの作成

図枠・図面を配置する

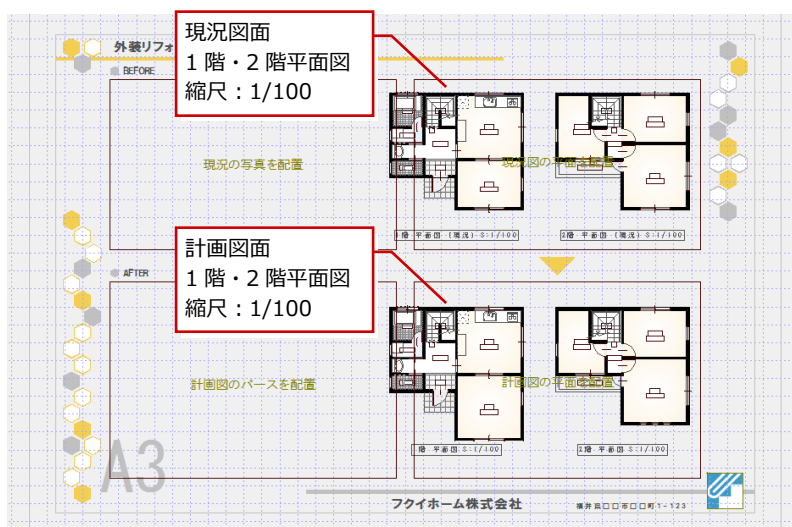
「印刷」タブの「図面」をクリックして、図枠と図面を配置します。

使用する図枠：「3：ポップ」の「A3_03」

※ 1階・2階平面図は、「図面間距離」を「0」に変更して配置します。

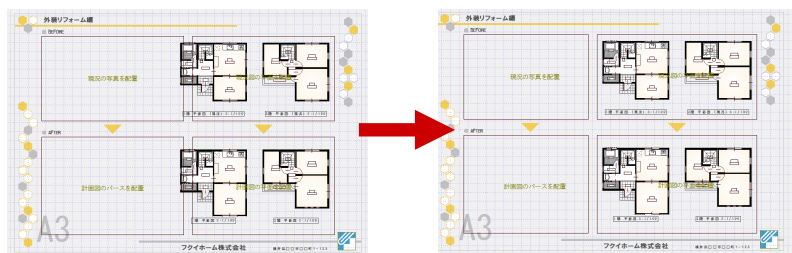


⇒ 図枠・図面の配置については、「リフォームプラン作成編」P.26、27 参照

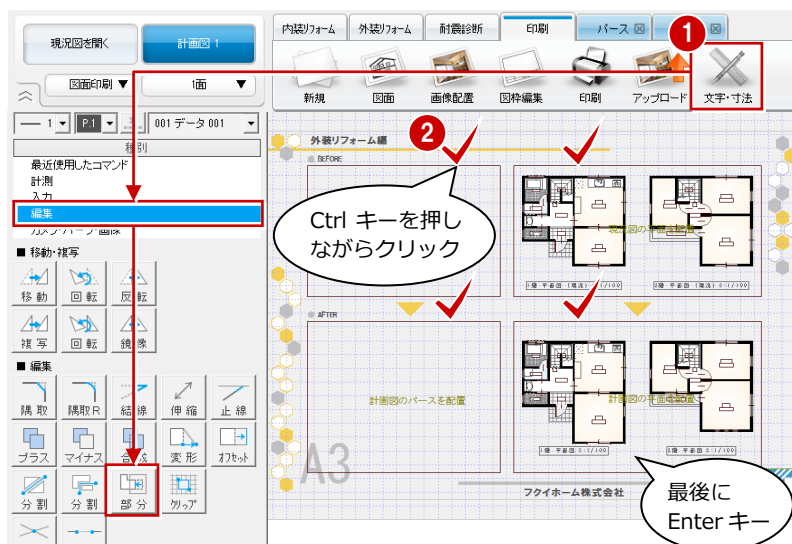


枠を部分移動する

平面図が枠からはみ出しているので、枠を広げましょう。



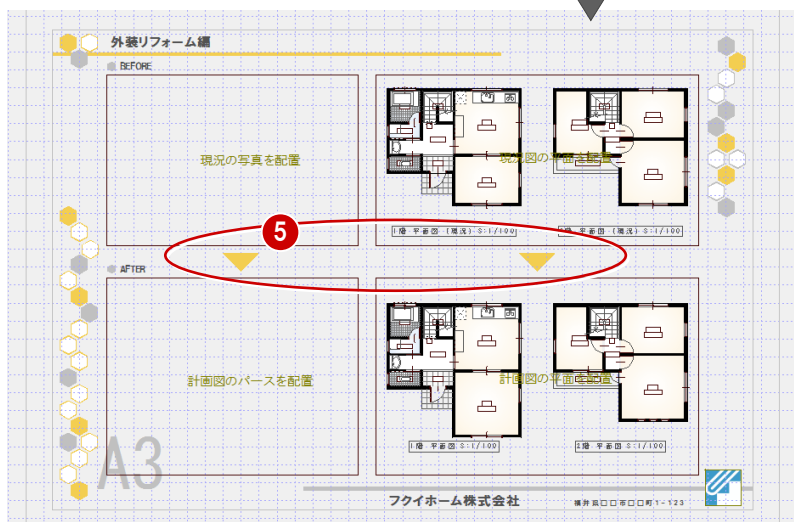
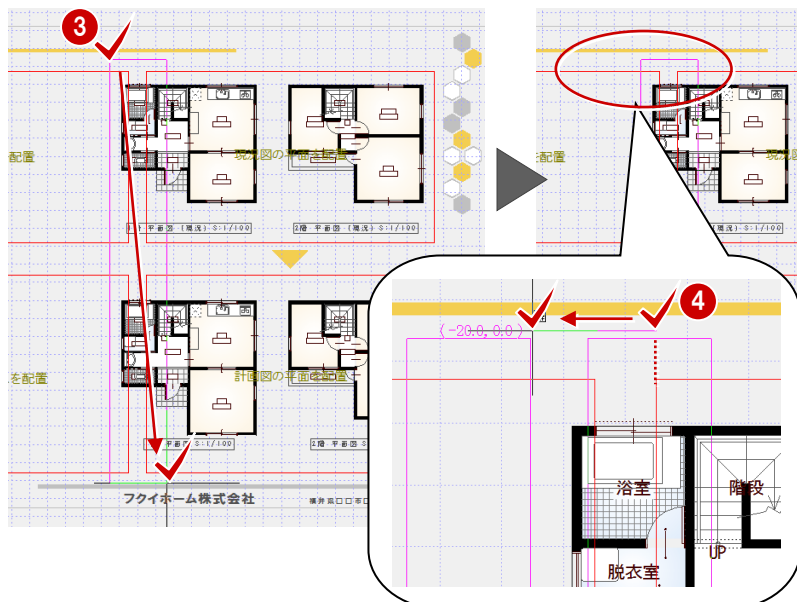
- ① 「文字・寸法」をクリックして、「編集」の「部分」を選びます。
- ② Ctrl キーを押しながら枠4つを選択して、最後に Enter キー（またはポップアップメニューの「OK」）を押します。



③ 写真の枠の右辺と平面図の枠の左辺を含むように範囲を指定します。

④ 移動の基準点（平面図枠の左辺の延長上）と移動先（平面図枠の左辺の移動先）をクリックします。
平面図の枠が広がり、写真の枠が小さくなります。

⑤ 黄色の▼をトラックで枠の中央に移動しておきましょう。

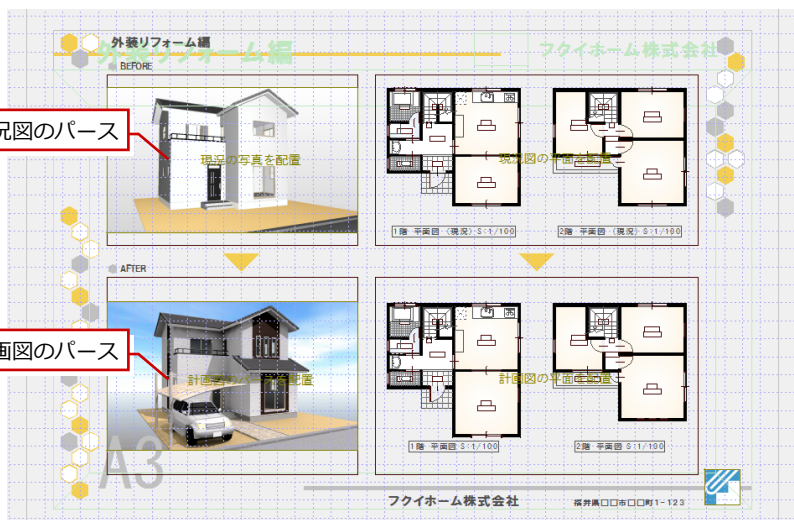


パースを配置する

「画像配置」をクリックして、右図のようにパース画像を配置します。

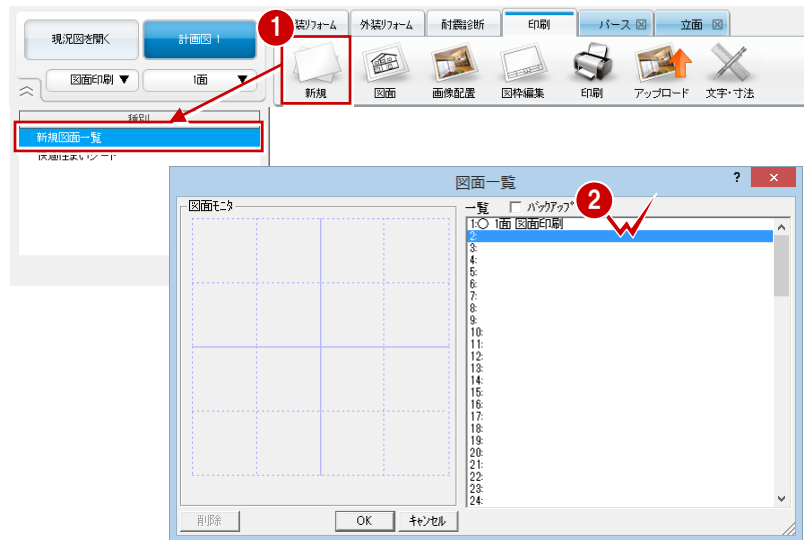
※ ここでは現況のパースを配置していますが、写真がある場合は写真を配置するとよいでしょう。

⇒ パースの配置については、「リフォームプラン作成編」P.28 参照



2 面目を開く

- 1 「新規」をクリックして、「新規図面一覧」を選びます。
- 2 「図面一覧」ダイアログで空いている面（ここでは2面）をダブルクリックします。



別の方法

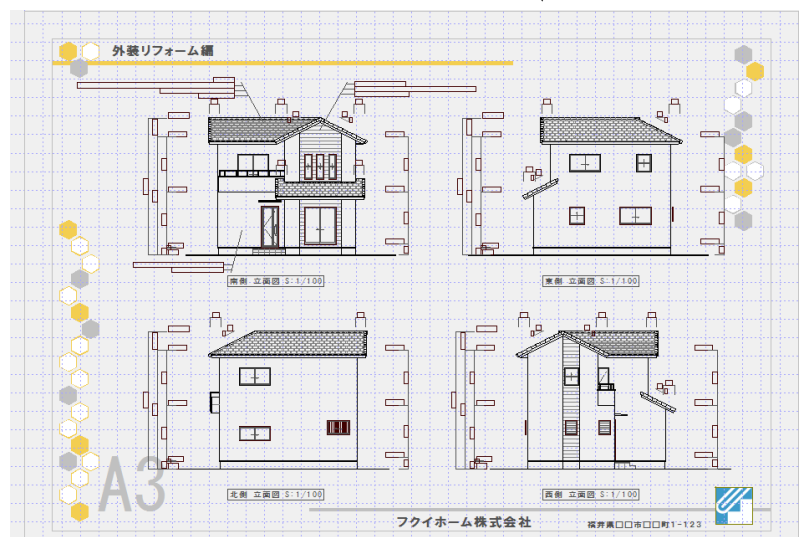
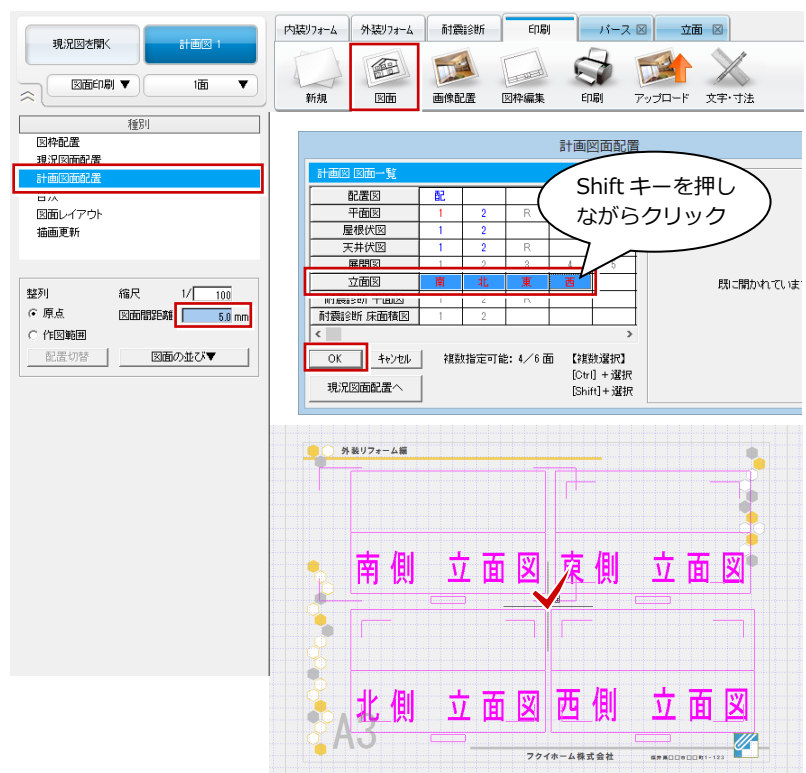
「階・面の切り替え」から「図面一覧」を選んで同様です。



図枠・図面を配置する

- 1 面と同様にして、図枠と図面を配置します。
使用する図枠：「3：ポップ」の「A3_05」

※ 立面図は、「図面間距離」を「5」に変更して配置します。

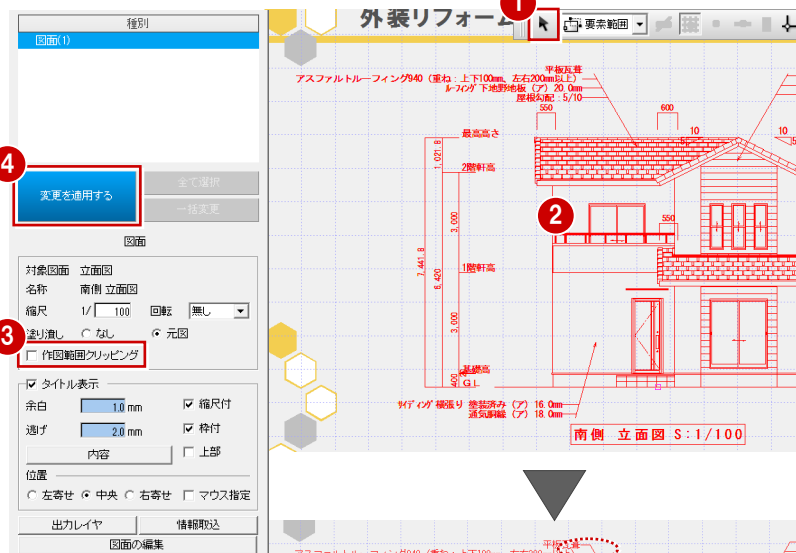


作図範囲外のデータを表示する

立面図の仕上仕様の引出線がすべて表示されていない場合は、次のように操作します。

- 1 2 南側立面図を選択します。
- 3 「作図範囲クリッピング」をOFFにします。
- 4 「変更を適用する」をクリックします。
作図範囲の外側にあるデータもすべて表示されます。

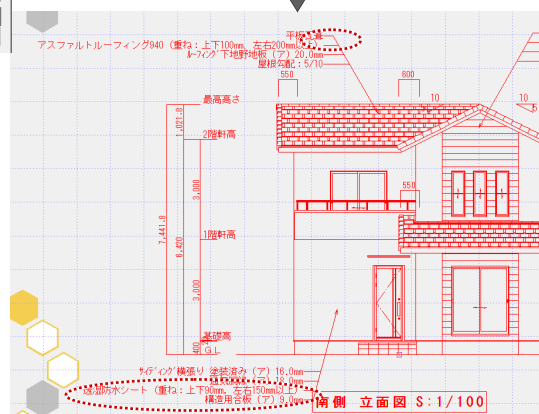
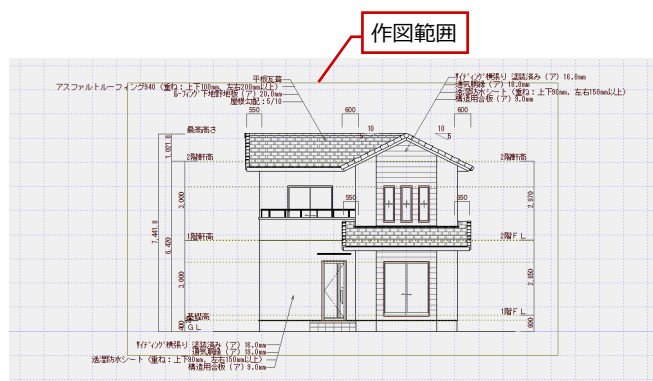
⇒ 図面のプロパティについては、「リフォームプラン作成編」P.31 参照




作図範囲クリッピング

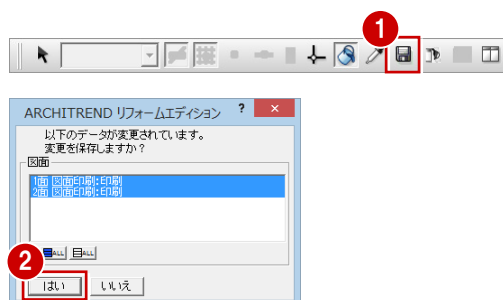
文字列は、基準点が作図範囲外にあると「作図範囲クリッピング」ON の場合に表示されません。

ここでは、引出線の文字列が一部作図範囲外にあるため、「作図範囲クリッピング」をOFF にしてすべてを表示させています。



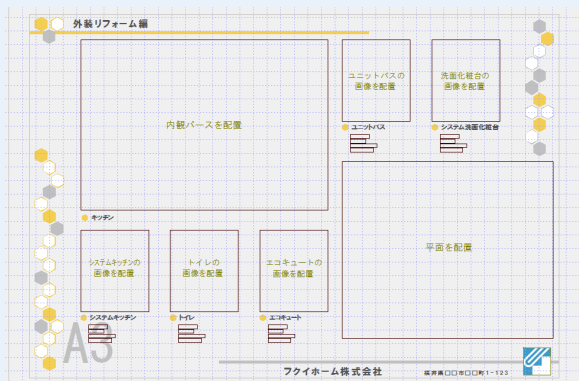
データを保存する

- 1 フローティングバーの  をクリックします。
- 2 確認画面で「はい」をクリックします。

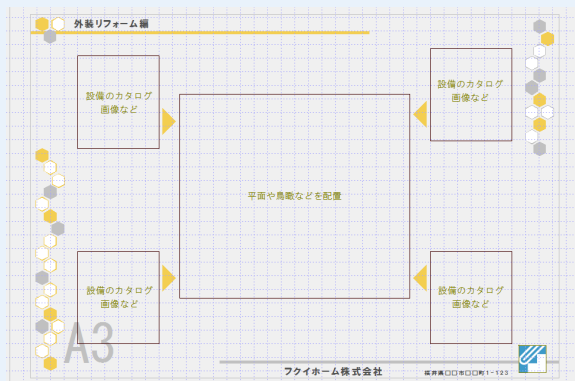


【補足】 テクスチャ・設備のプレゼンボード

「3 : ポップ」の「A3_02」や「A3_04」の図枠を使うと、テクスチャや設備のプレゼンボードが作成できます。
 建材メーカーのホームページなどからダウンロードした画像をレイアウトしましょう。



【A3_02】



【A3_04】



※ 上図のテクスチャや設備の画像は、「文字・寸法」の「カメラ・パーツ・画像」の「スクリーン」を使用して配置しています。
 あらかじめ建材メーカーのホームページなどを表示しておき、取り込みたい範囲を指定すると、画像として配置できます。

